

主婦のアルバイト調査（2021年）



■ 調査概要

調査対象

アルバイトとして働く主婦について実態面と意識面から明らかにすること

調査期間

2021年3月31日（水）～2021年4月1日（木）

調査方法

外部パネルによるWEBアンケート調査

有効回答数

1,600名

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部 E-mail : myrm@mynavi.jp

■ INDEX

(1) 回答者プロフィール

年代／末子年齢／居住地／子供人数／世帯構成／平均月収

(2) 就業実態

職種／以前の雇用形態／勤務期間／勤務日数／勤務曜日／勤務時間／通勤時間

(3) 現在の勤務先への意識

継続意向／満足度／前向きさ／推奨度／勤務先の実情／やりがい／勤務先での悩み／理想の上司像

(4) 就業意向と非就業理由

就業意向／非就業理由

(5) 今後希望する雇用形態

希望する雇用形態／正社員希望理由／非正社員希望理由

(6) アルバイト探しに関する意識

アルバイトをする目的／アルバイト探しの重視条件／入社の決め手／アルバイト開始時の不安事項／アルバイト探しの時に欲しい情報

(7) 早期離職の実態と意識

離職経験／早期離職理由

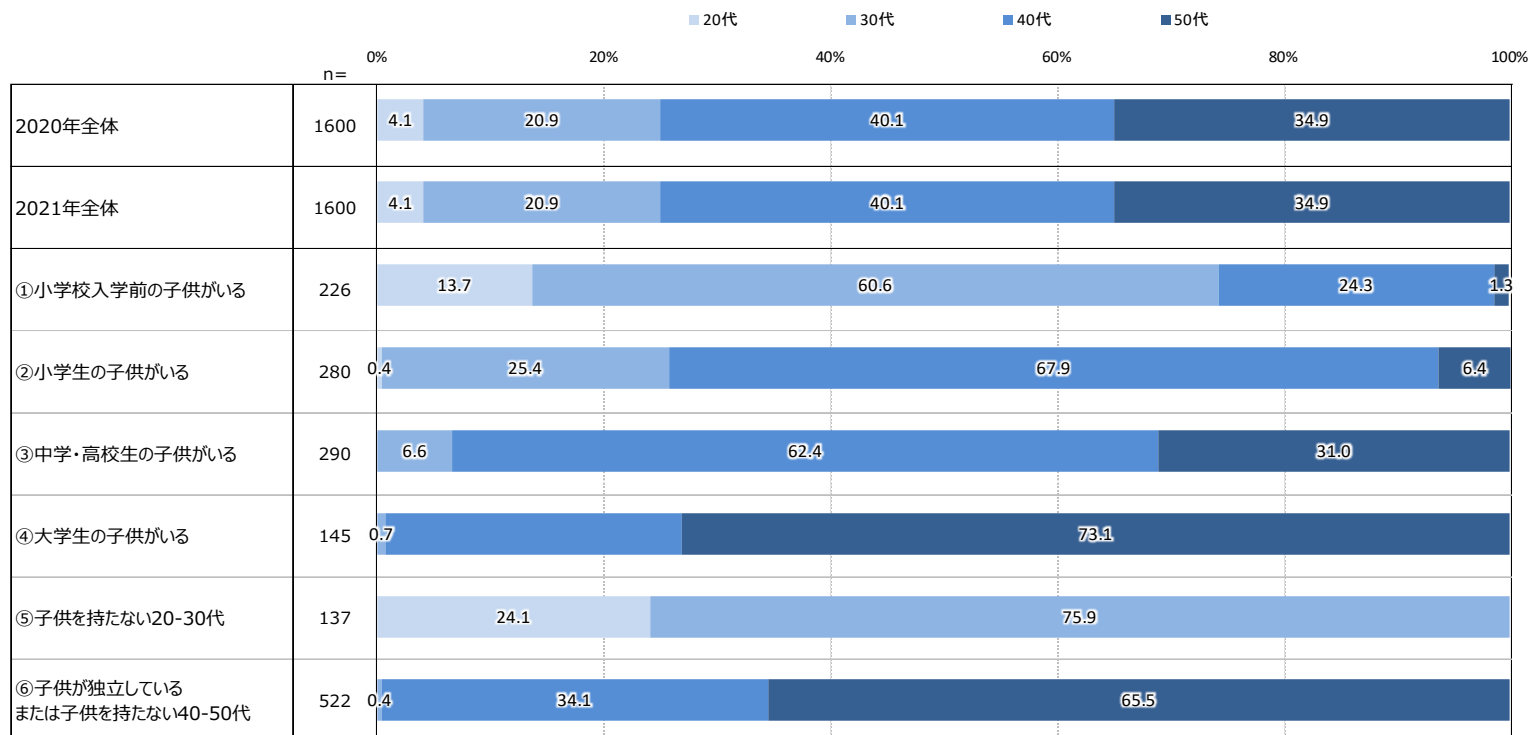
(8) 就業調整の実態と意識

就業調整／就業調整理由

(1) 回答者プロフィール

年代（単一回答）

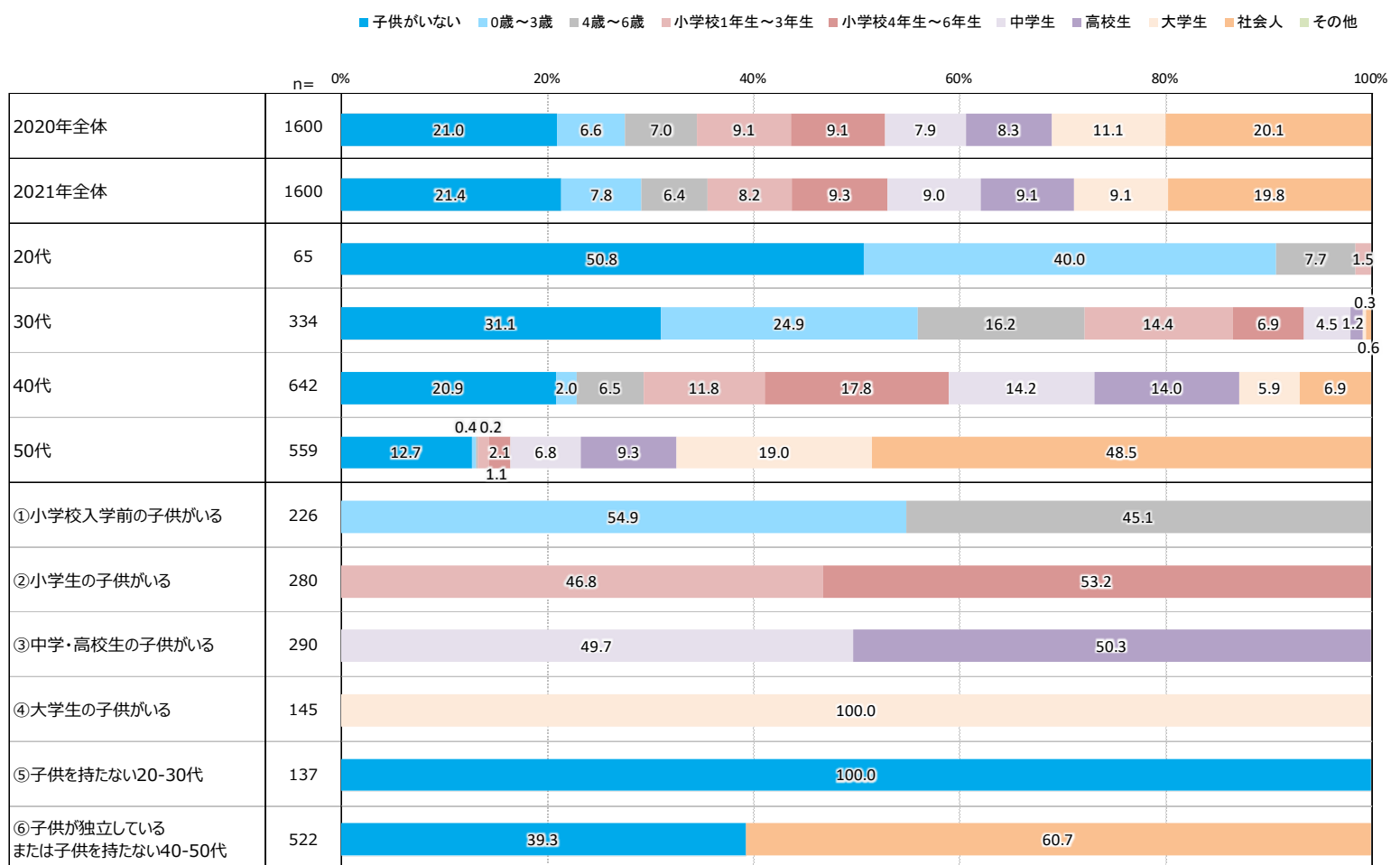
- ・【①小学校入学前の子供がいる】層では「30代」が約6割で最も高く、【②③小・中・高校生の子供がいる】層では「40代」が最も高い。
- ・【④大学生の子供がいる】層では「50代」が7割強で最も高い。
- ・なお、2020年調査と回収内訳は同じであるため、2020年全体と2021年全体は同じ数値となっている。



末子年齢

【末子の年齢・所属としてあてはまるもの（単一回答）】

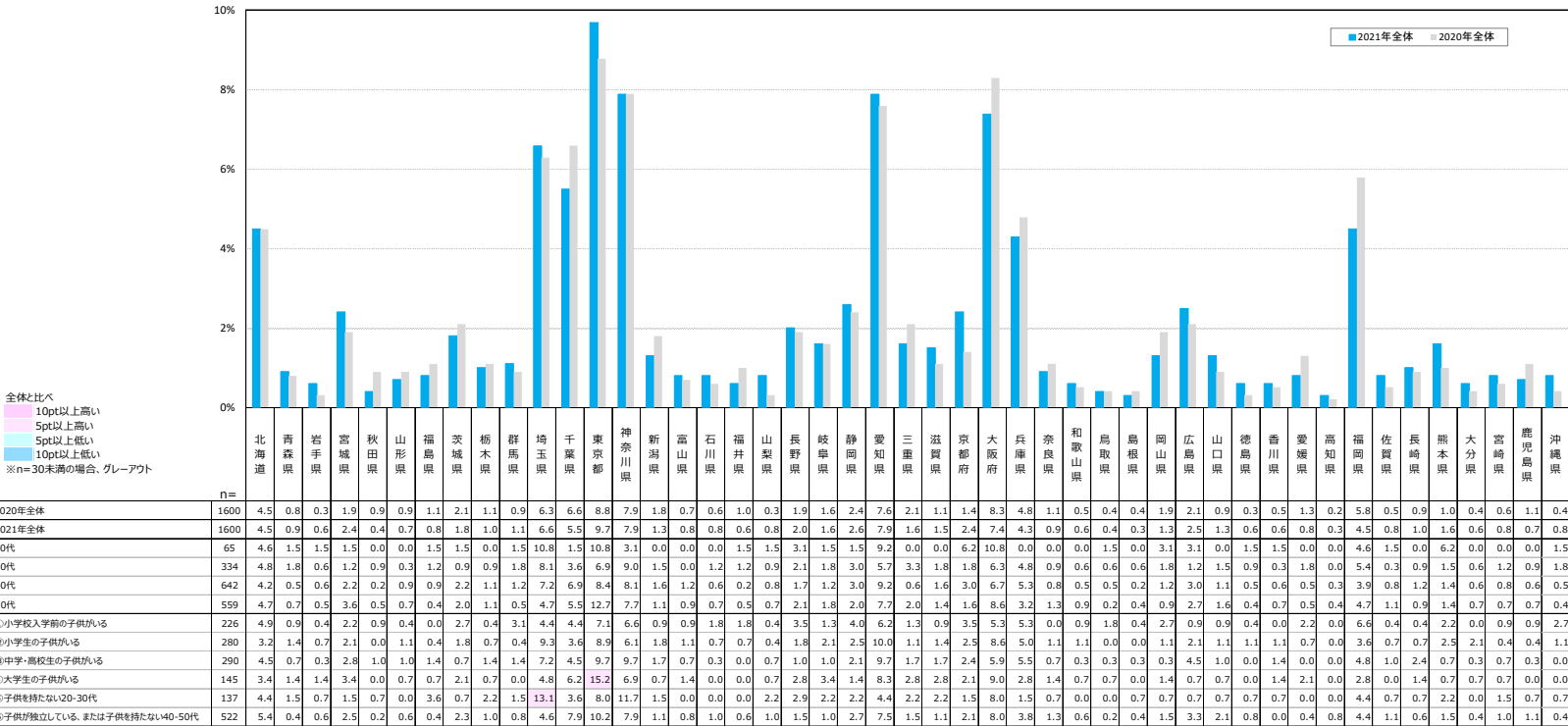
- ・全体では「子供がいない」が21.4%で最も高く、次いで「社会人」が19.8%の順。子供がいる割合は全体の8割程度である。
- ・【20代】では「子供がいない」が50.8%と半数を上回っている。
- ・2020年調査と比べると全体の構成はほぼ変わらない。



居住地

【居住地（単一回答）】

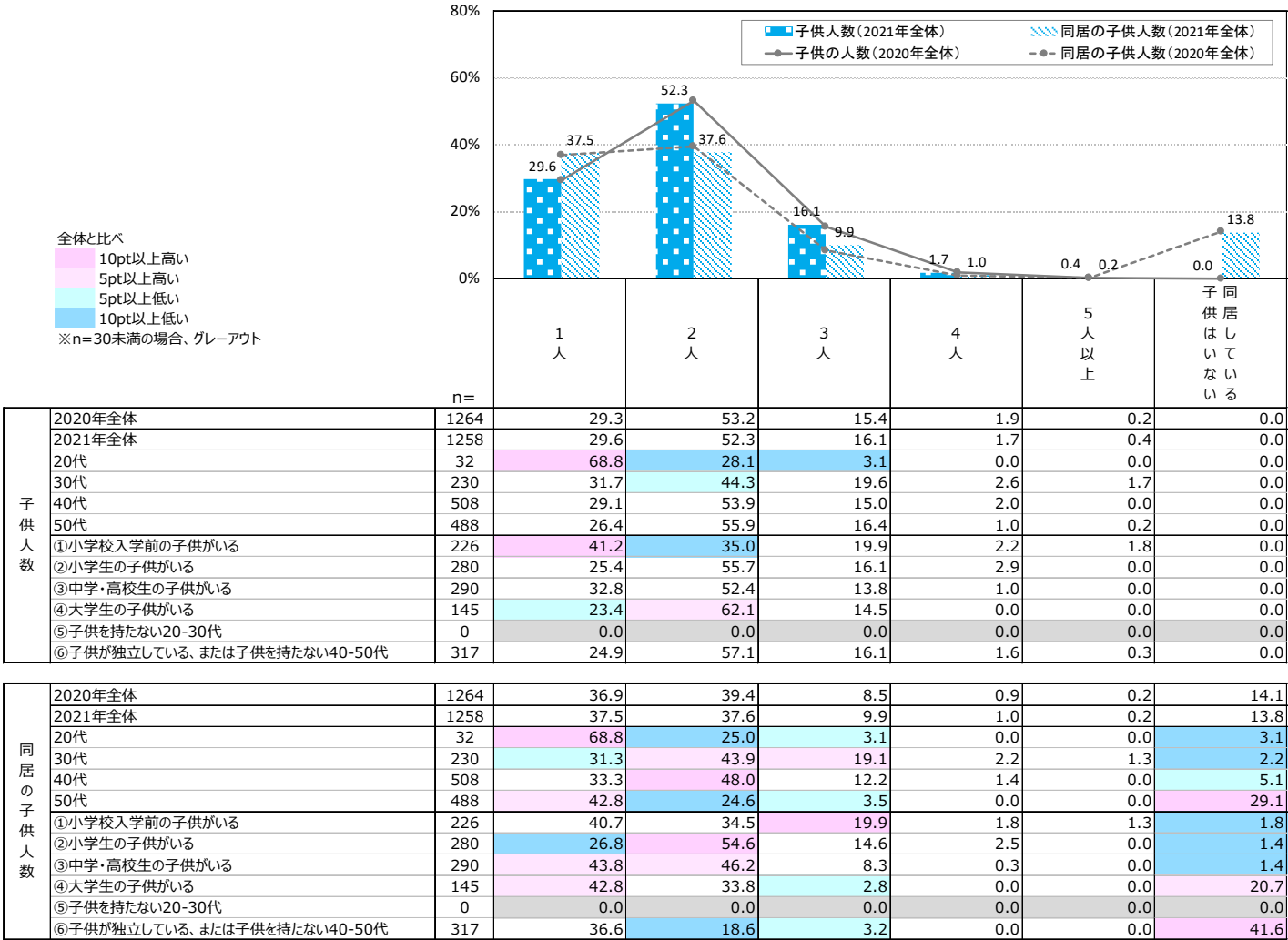
- ・全体とみると、北海道、1都3県、愛知県、大阪府、兵庫県、福岡県の居住者が多い。
- ・【④大学生の子供がいる】層では東京都の比率がやや高く、【⑤子供を持たない20-30代】層では埼玉県、東京都の比率がやや高い。
- ・2020年と比較すると東京都の比率がやや高くなり、千葉県、大阪府、福岡県の比率はやや低くなっている。



子供・同居の子供人数

【子供の人数/同居の子供の人数（単一回答）】

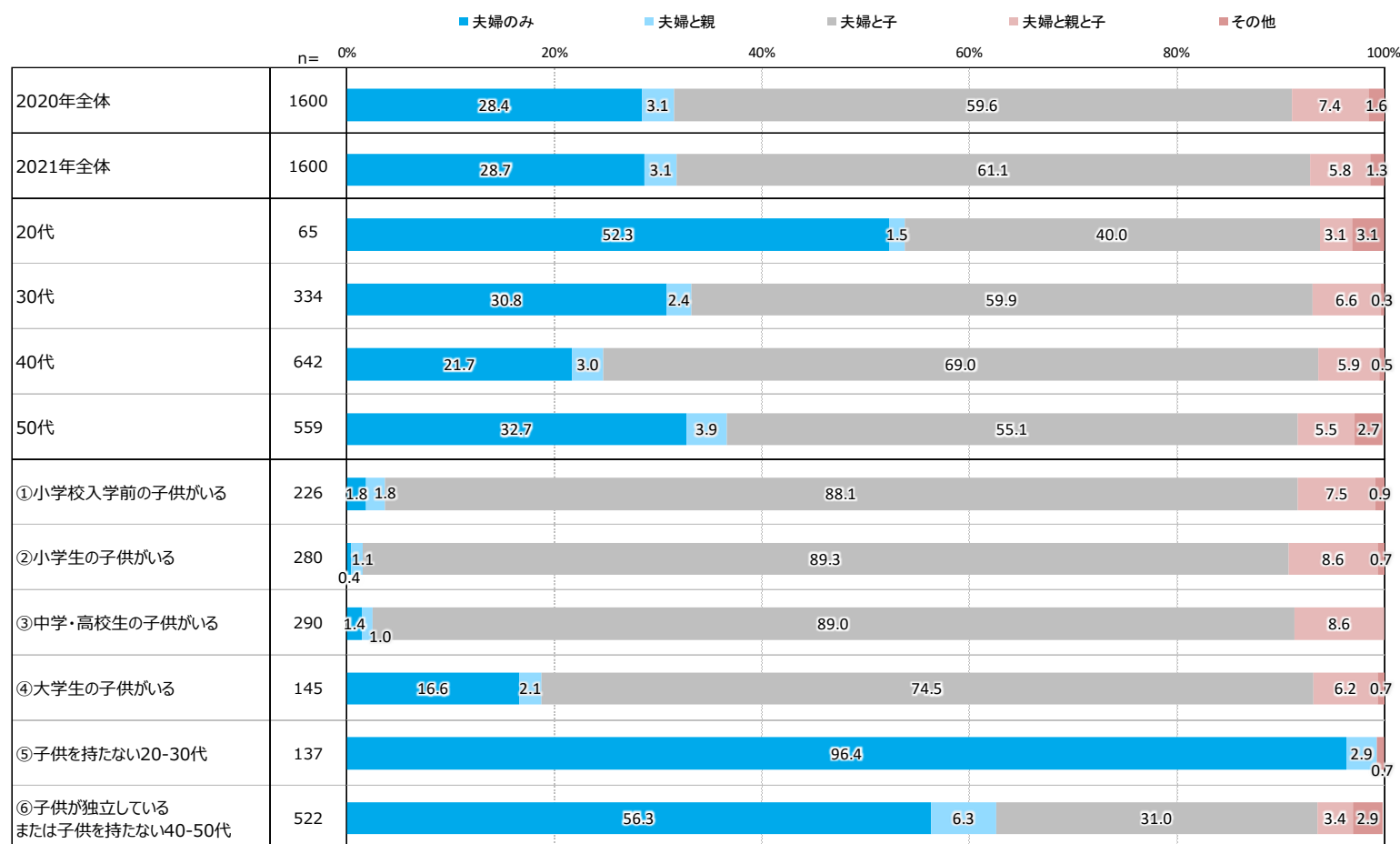
- ・全体とみると、子供人数では「2人」が最も高く、同居の子供人数では「1人」と「2人」がほぼ同じ。
- ・2020年と比較すると子供人数、同居の子供人数ともに構成に大きな差は見られない。



世帯構成

【世帯を共にしている人（単一回答）】

- ・年代別で「夫婦のみ」の割合は【20代】が最も高く52.3%、【30代】、【40代】でその割合は減少していくが【50代】で再び増加している。
- ・高校生以下の子供がいる【①②③】層では「夫婦と子」が約9割を占める。
- ・2020年と比較して大きな差は見られない。

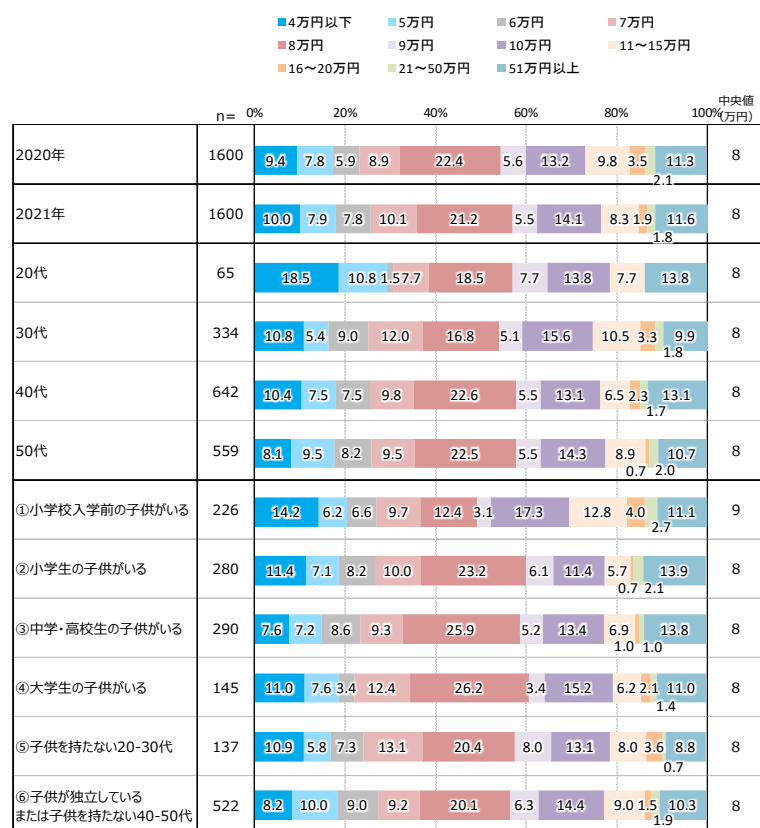


平均月収

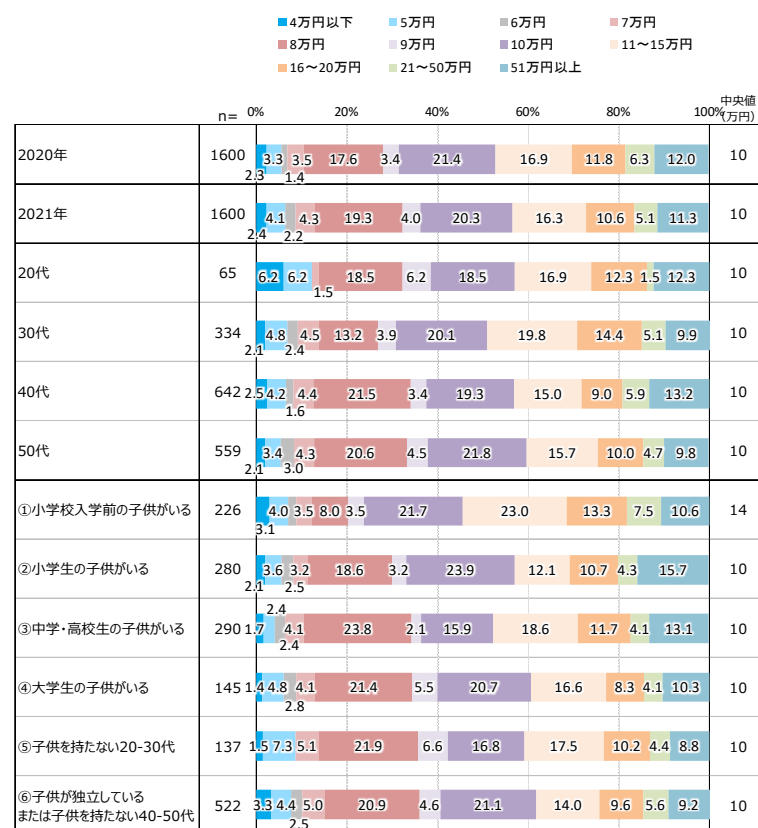
【あなたの1カ月あたりの平均収入・希望する1カ月あたりの収入（単一回答）】

- ・全体でみると現在の平均月収は中央値で「8万円」。最も高いのは【①小学校入学前の子供がいる】層で「9万円」。
- ・希望する月収の中央値は「10万円」で、現在の平均月収プラス2万円というレベル感だが、【①小学校入学前の子供がいる】層のみ中央値が「14万円」と高い。
- ・2020年と比較すると、現在の平均月収、希望する月収ともに中央値は同じである。

【現在の平均月収】



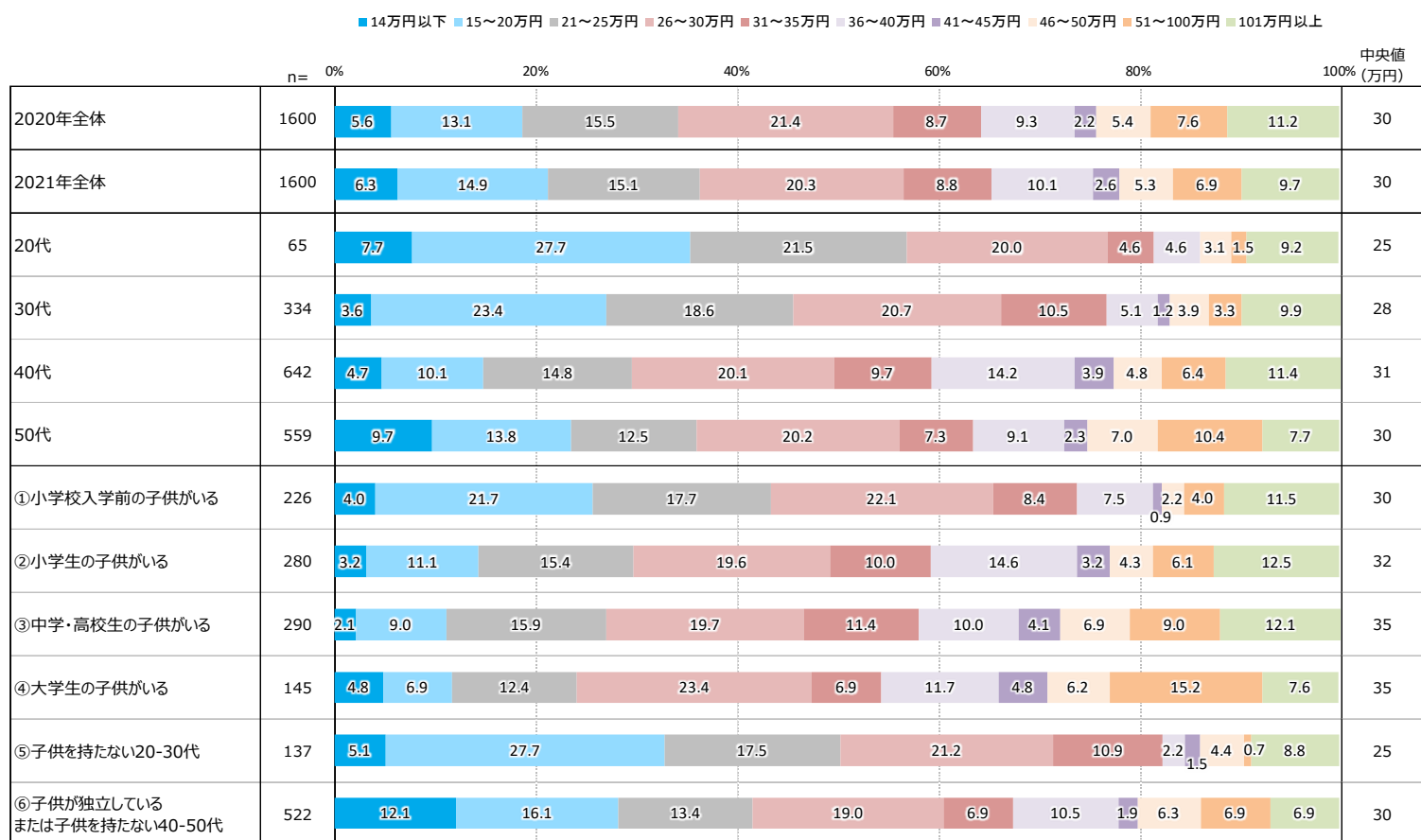
【希望する月収】



配偶者の平均月収

【配偶者の1カ月あたりの平均収入（数値回答）】

- ・全体で見ると配偶者の平均月収の中央値は30万円。
- ・最も中央値が高いのは【③中学・高校生の子供がいる】【④大学生の子供がいる】層の35万円で、全体に比べ5万円程度高い。
- ・2020年と比較すると中央値はともに30万円で変わらず、構成比を見ても大きな差は見られない。

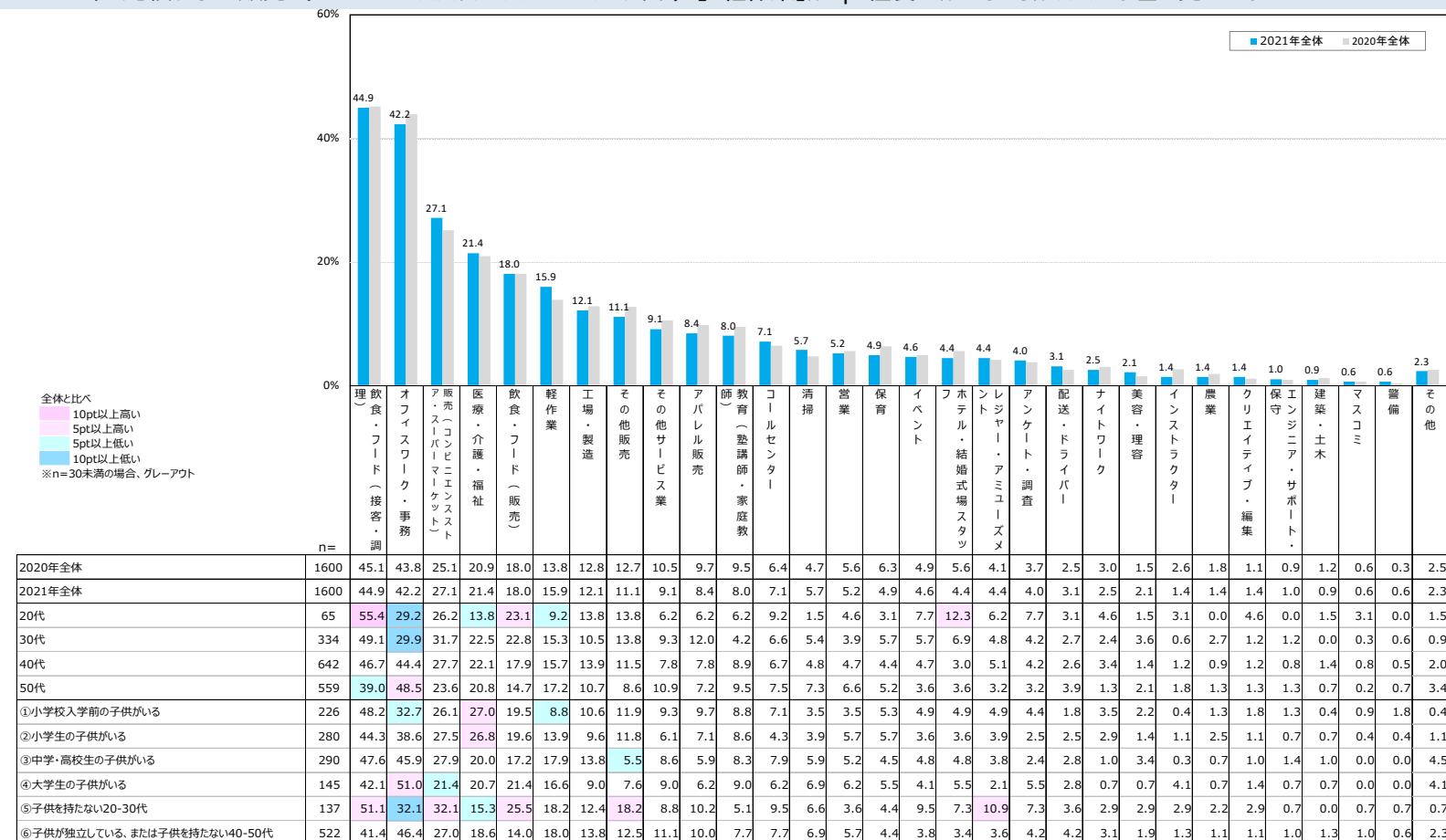


(2) 就業実態

職種

【今までに経験したいことのあるアルバイト（複数回答）】

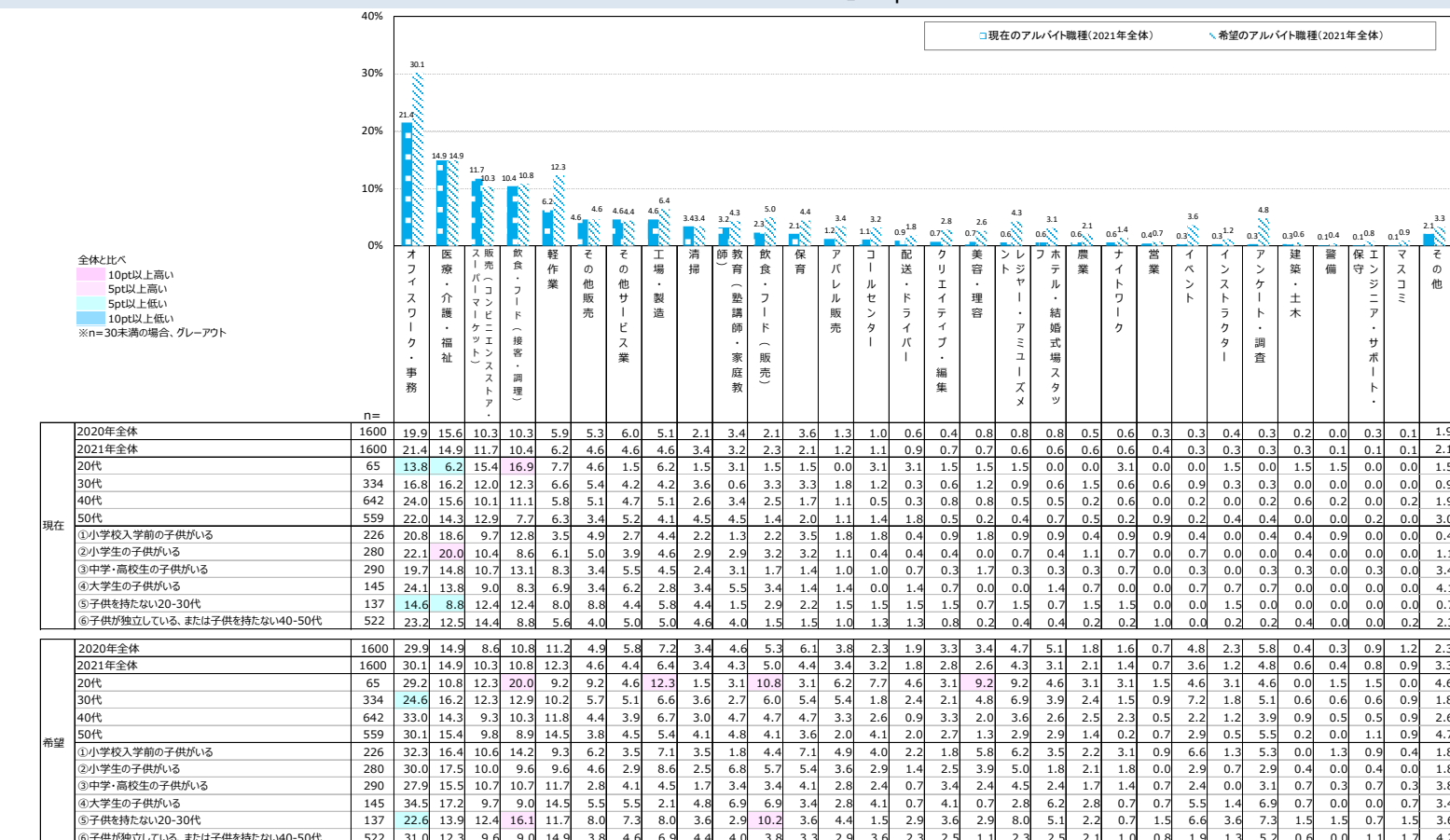
- ・全体でみると、「飲食・フード（接客・調理）」「オフィスワーク・事務」が4割を超え、次いで「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」「医療・介護・福祉」が2割超となっている。「オフィスワーク・事務」は【20代】【30代】で低い。
- ・2020年と比較すると「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」「軽作業」が2pt程度上がっているが、大きな差は見られない。



職種（現在・希望）

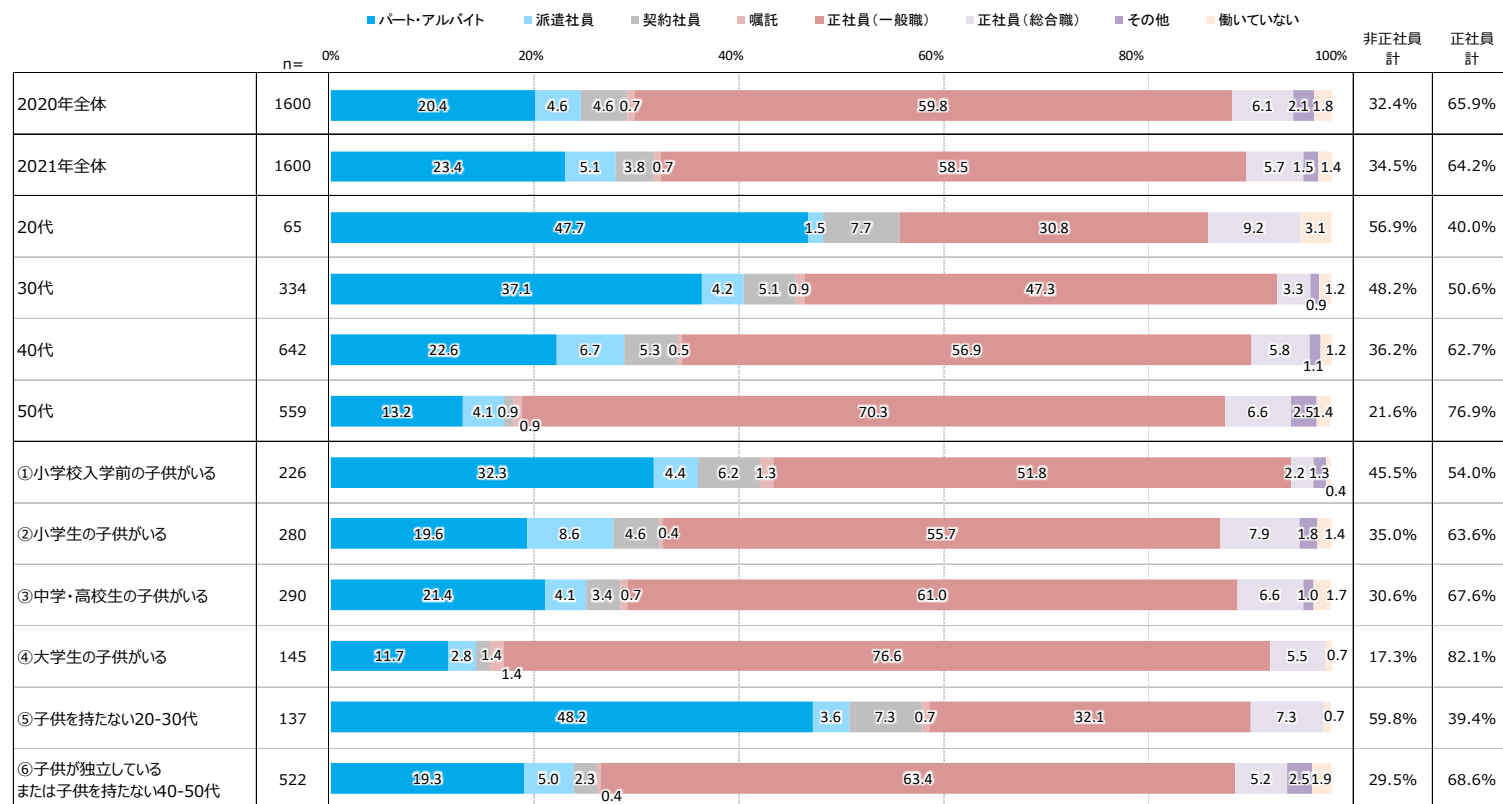
【現在のアルバイト職種（単一回答）／希望するアルバイト職種（複数回答）】

- ・全体で現在の職種をみると、「オフィスワーク・事務」が高く、そのほか「医療・介護・福祉」「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」「飲食・フード（接客・調理）」が上位にあがる。希望の職種では、「オフィスワーク・事務」が特に高く、次いで「医療・介護・福祉」「軽作業」が上位である。
- ・2020年と比較しても大きな差はなく、希望の職種について「ホテル・結婚式場スタッフ」が2pt程度下がっているのみである。



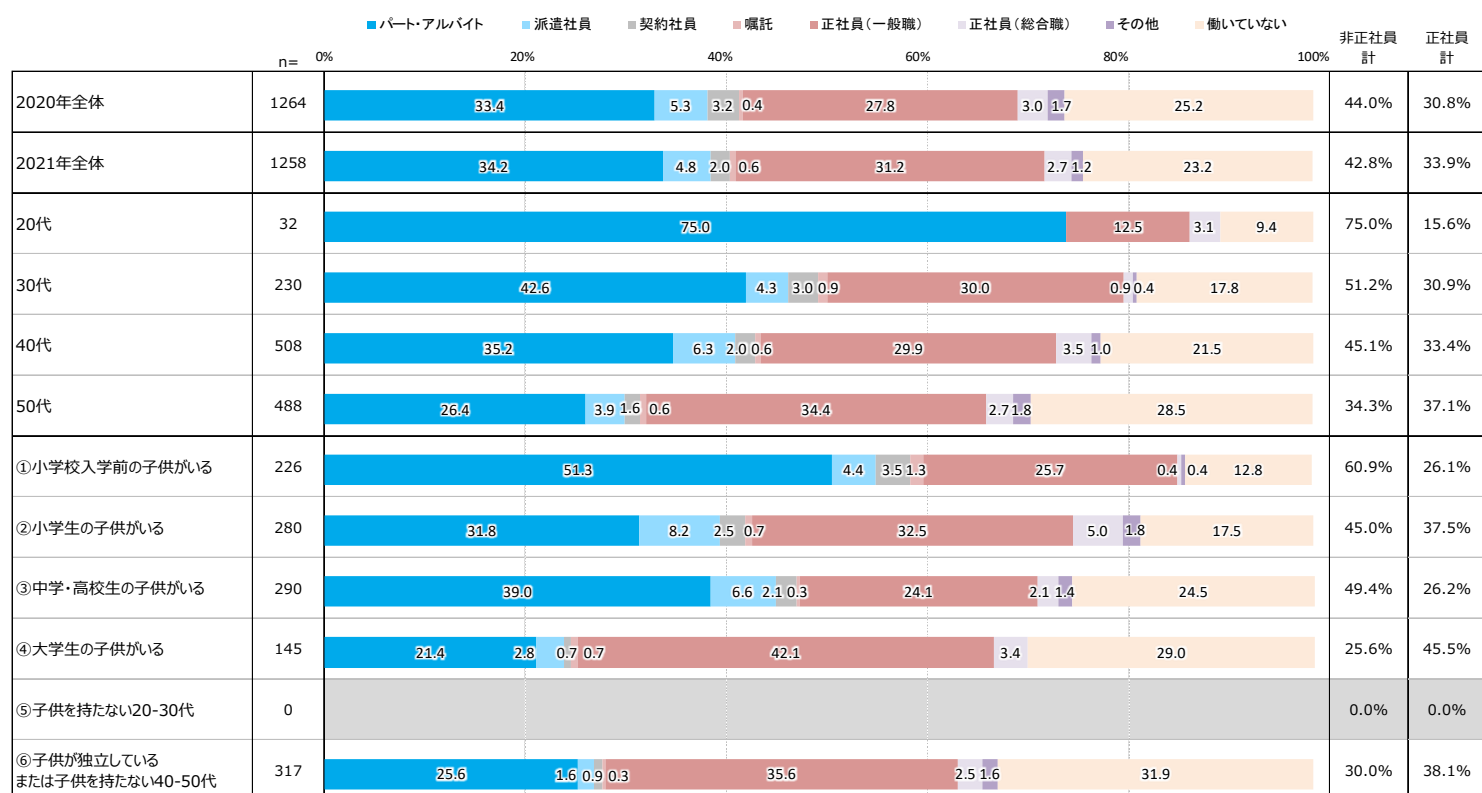
雇用形態（結婚前） 【結婚前（単一回答）】

- ・全体では「正社員（一般職）」が約6割で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が2割強となっている。
- ・「正社員計」の割合は年代が上の方が高く、「非正社員計」の割合は年代が下の方が高い。
- ・属性別で「パート・アルバイト」の比率が最も高いのは【⑤子供を持たない20-30代】で、約5割を占めている。
- ・2020年と比較すると「パート・アルバイト」が3pt増えている。



雇用形態（出産前） 【子供が生まれる前（単一回答）】

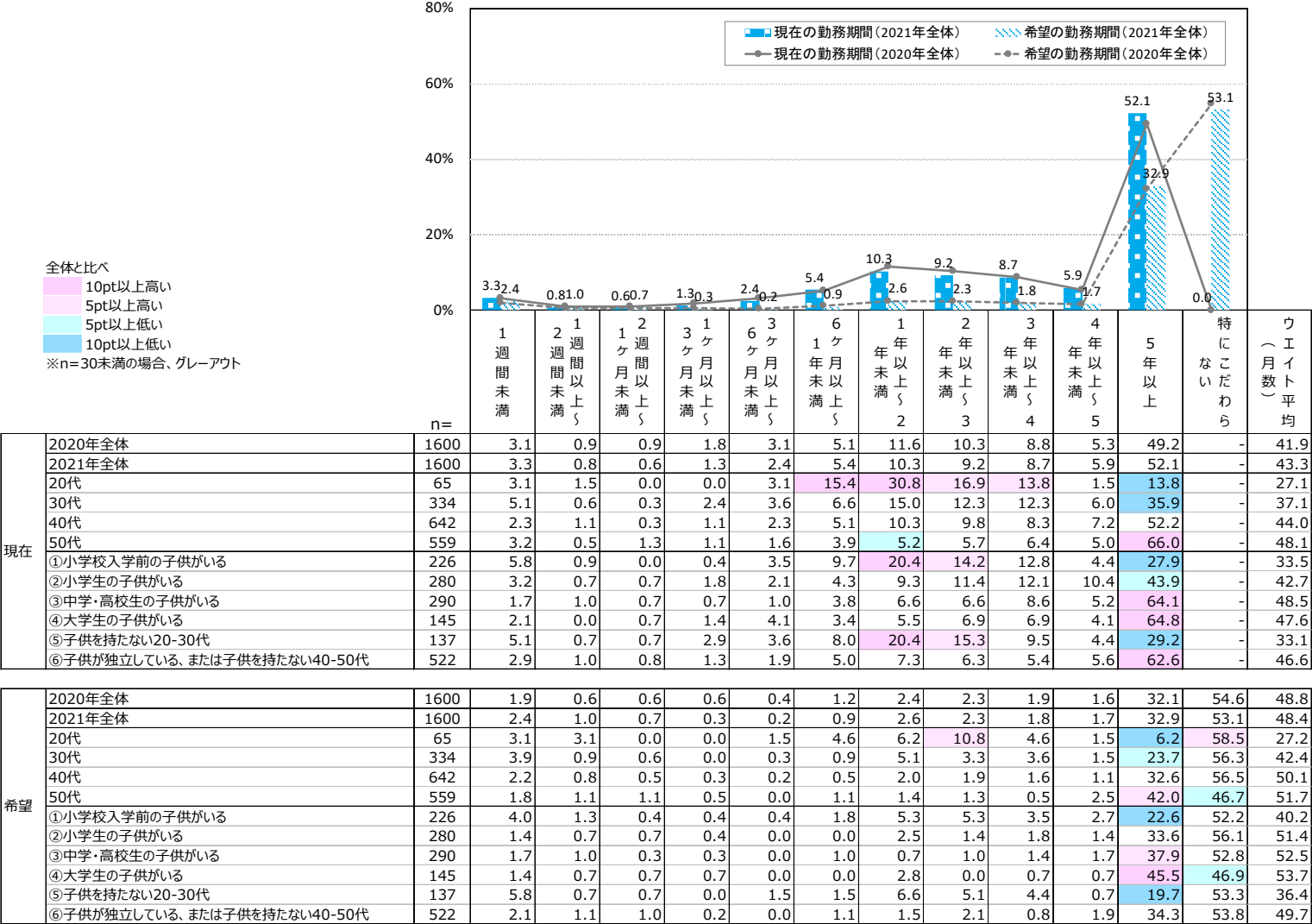
- ・全体では「パート・アルバイト」が3割強で最も高く、次いで「正社員（一般職）」が3割弱となっている。
- ・「正社員計」の割合は年代が上の方が高く、「非正社員計」の割合は年代が下の方が高い。
- ・2020年と比較すると、「正社員（一般職）」が3pt程度増えている。



勤務期間（現在・希望）

【現在のアルバイト先における勤務期間／希望の勤務期間（単一回答）】

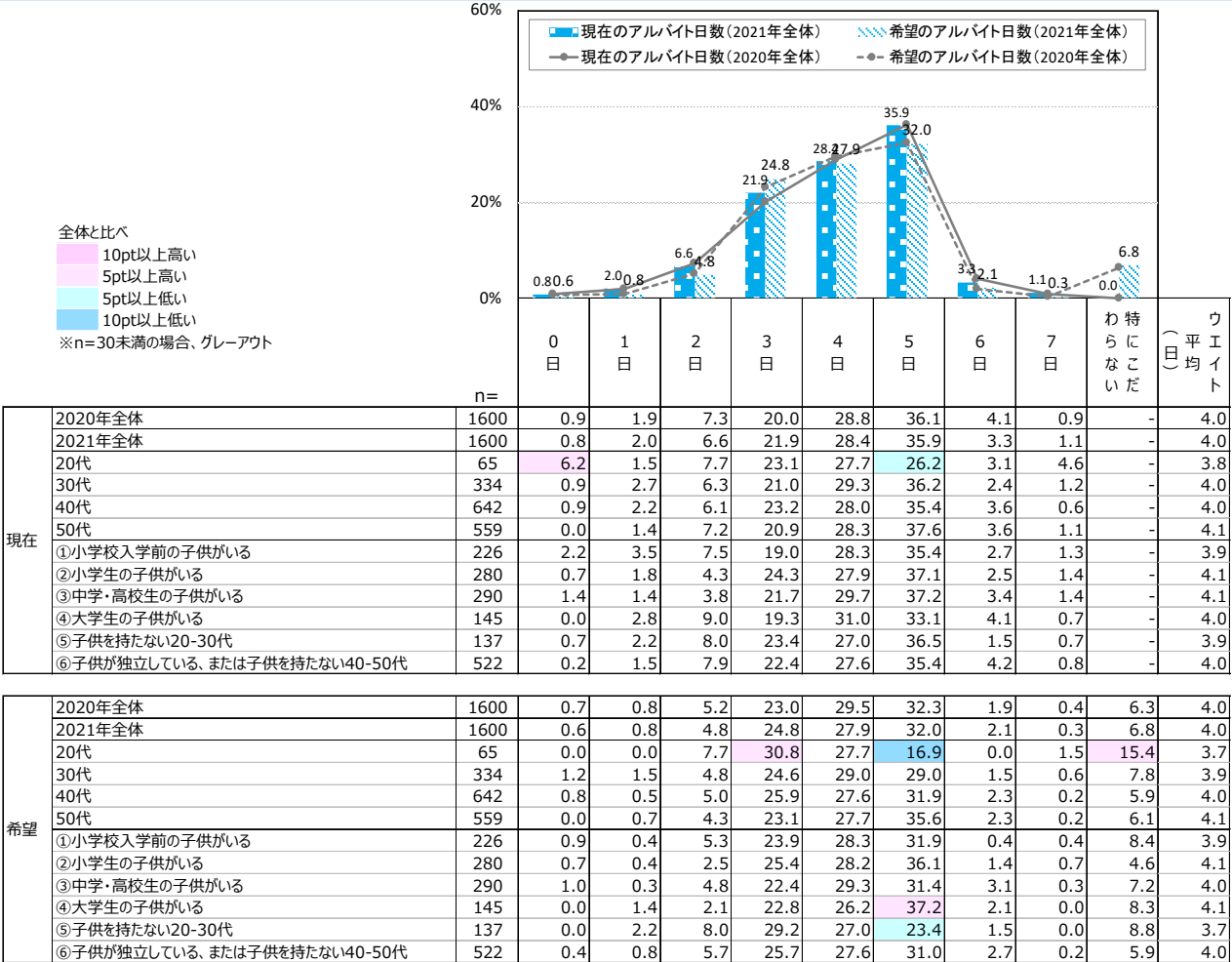
- ・全体でみると、現在の平均アルバイト期間は43.3ヶ月、希望の平均アルバイト期間は48.4ヶ月。
- ・2020年と比較すると、現在の期間は1.4ヶ月長くなり、希望の期間では0.4ヶ月短くなっている



1週間の勤務日数（現在・希望）

【1週間あたりのアルバイト日数／希望の1週間あたりのアルバイト日数（単一回答）】

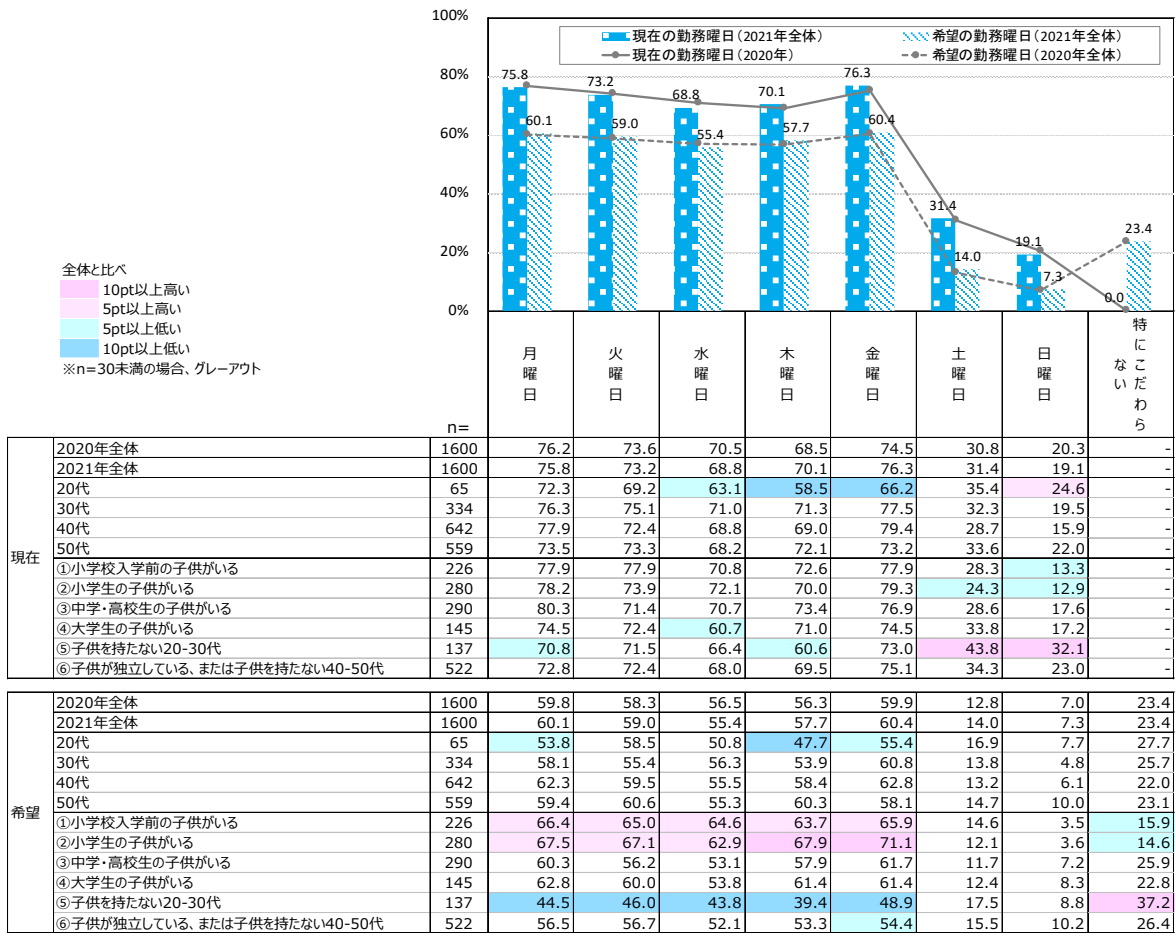
- ・全体でみると、1週間の平均アルバイト日数は4.0日、希望のアルバイト日数においても4.0日と、現在と希望に差はない。
- ・2020年と比較すると、現在の日数・希望の日数とも4.0日で変化がない。



勤務曜日（現在・希望）

【現在の勤務曜日／希望の勤務曜日（複数回答）】

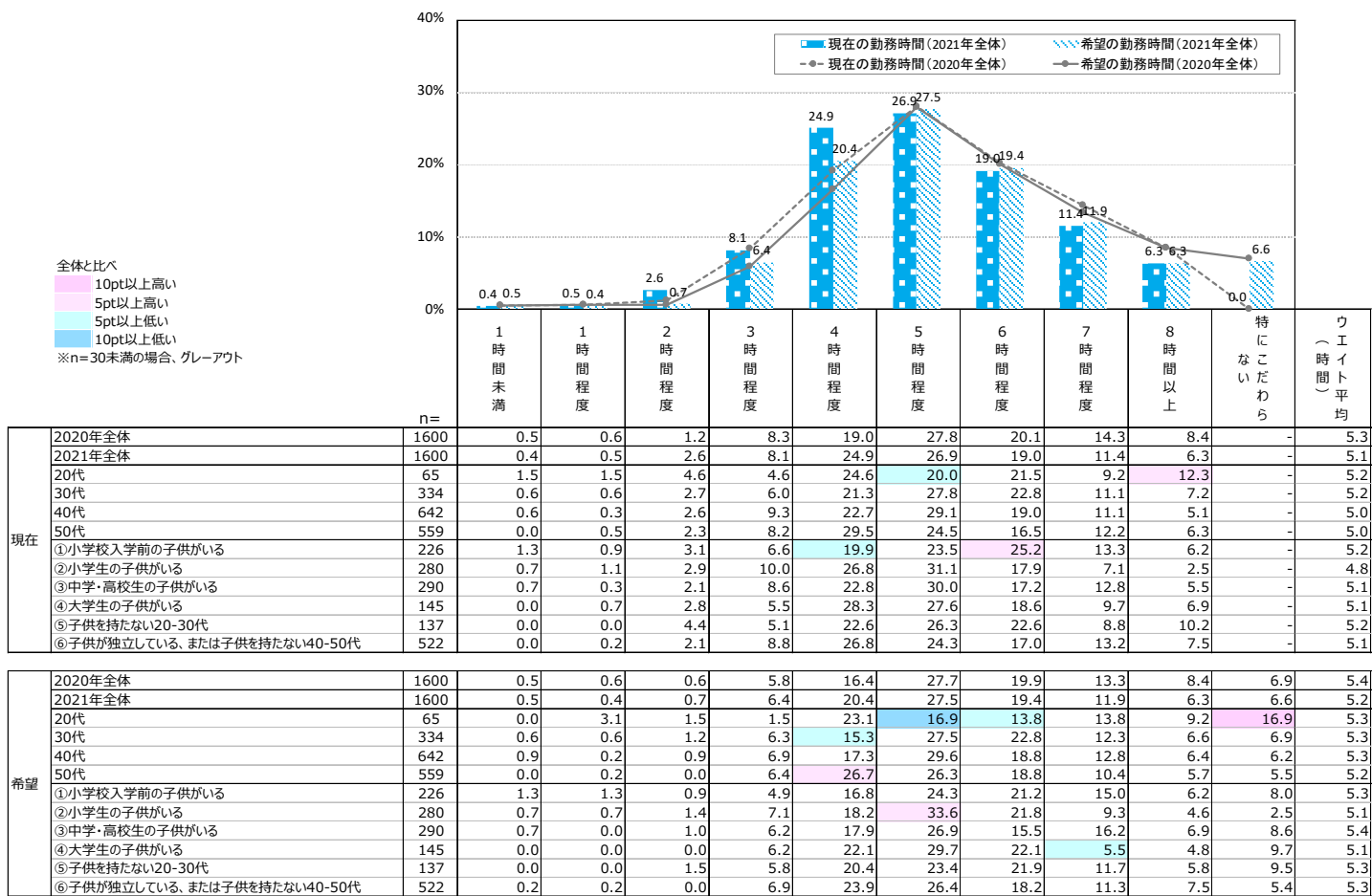
- ・全体でみると、現在の勤務曜日は「月曜日」が75.8%で最も高く、希望の曜日では「金曜日」が最も高いが、平日はほとんど差がない。
- ・現在の勤務曜日は【⑤子供を持たない20-30代】で「土曜日」「日曜日」がやや高い。
- ・希望の勤務曜日は【①小学校入学前の子供がいる】【②小学生の子供がいる】で平日が全般的に高めとなっている。
- ・2020年と比較すると、大きな差は見られない。



1日あたりの勤務時間（現在・希望）

【1日あたりの勤務時間／希望の1日あたりの勤務時間（単一回答）】

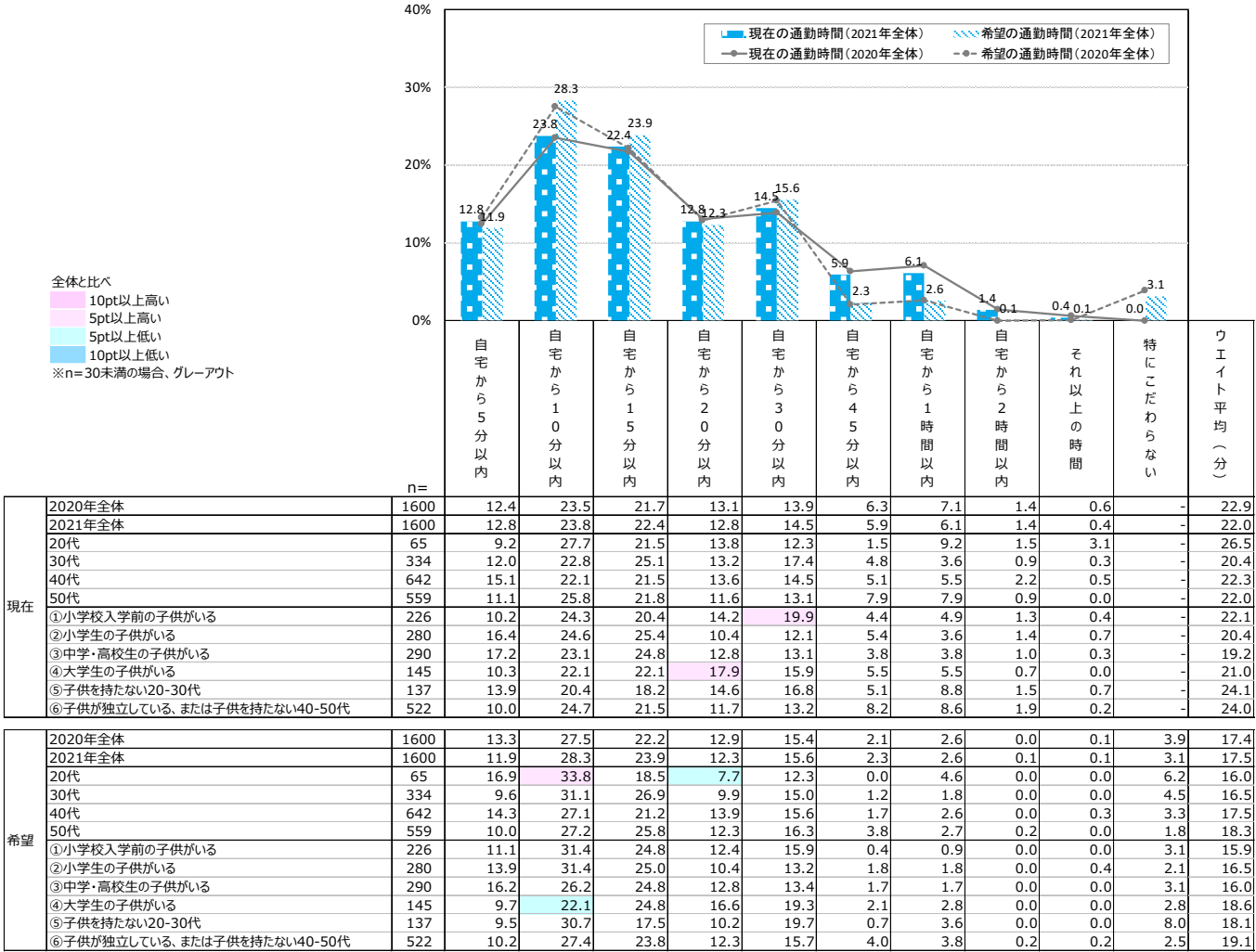
- ・全体でみると、1日あたりの平均勤務時間は5.1時間、希望の勤務時間は5.2時間で、ともに2020年と比較すると0.2時間短い。
- ・現在の勤務時間は年代別で【20代】【30代】、属性別で【①小学校入学前の子供がいる】【⑤子供を持たない20-30代】層が5.2時間と最も長い。
- ・希望の勤務時間では【③中学・高校生の子供がいる】層が5.4時間で最も長い。



通勤時間（現在・希望）

【自宅からの通勤時間／希望する自宅からの通勤時間（単一回答）】

- ・全体でみると、自宅からの平均通勤時間は22.0分、希望の通勤時間は17.5分と、現在が4.5分長い。
- ・2020年と比較すると、大きな差は見られない。

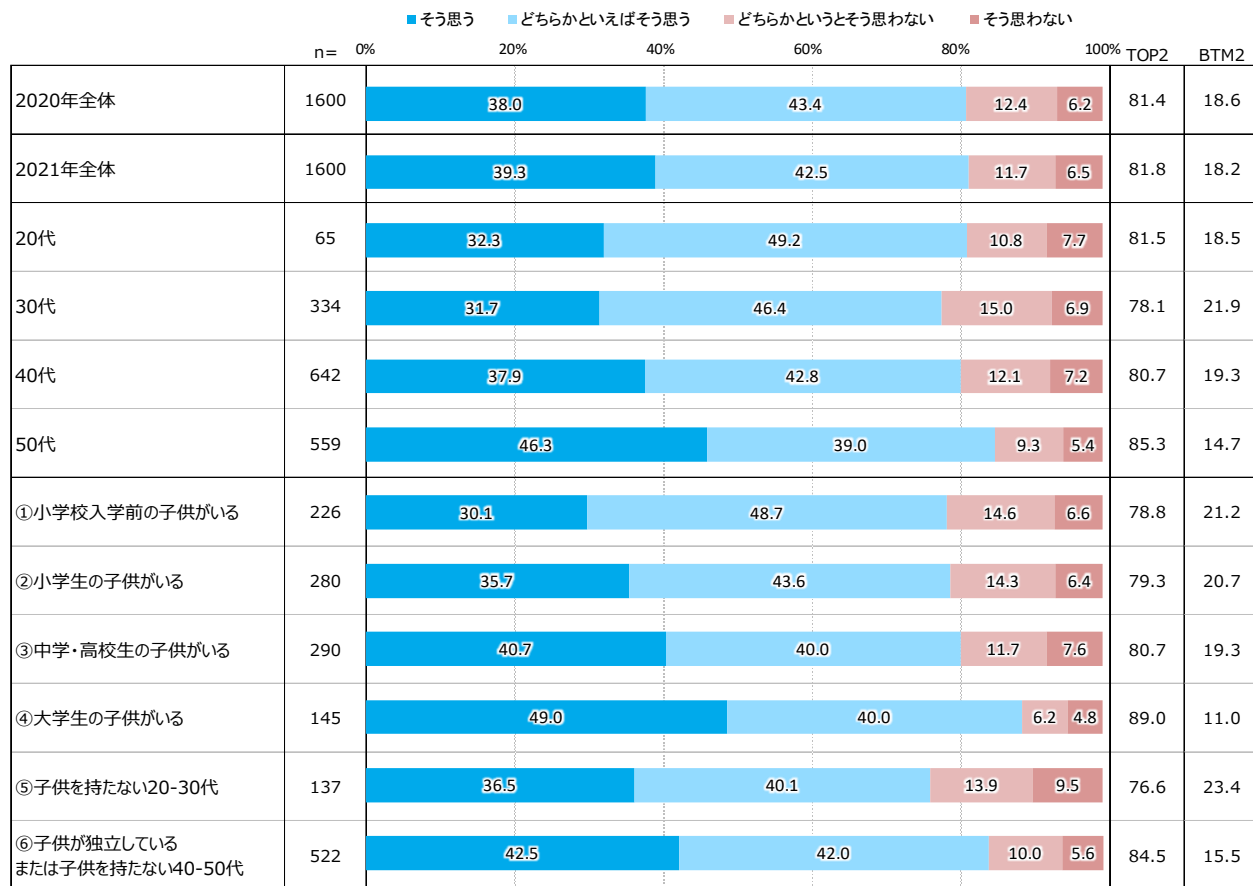


（3）現在の勤務先への意識

アルバイト先に対する意識：継続意向

【現在のアルバイト先で長く働きたいと思えるか（単一回答）】

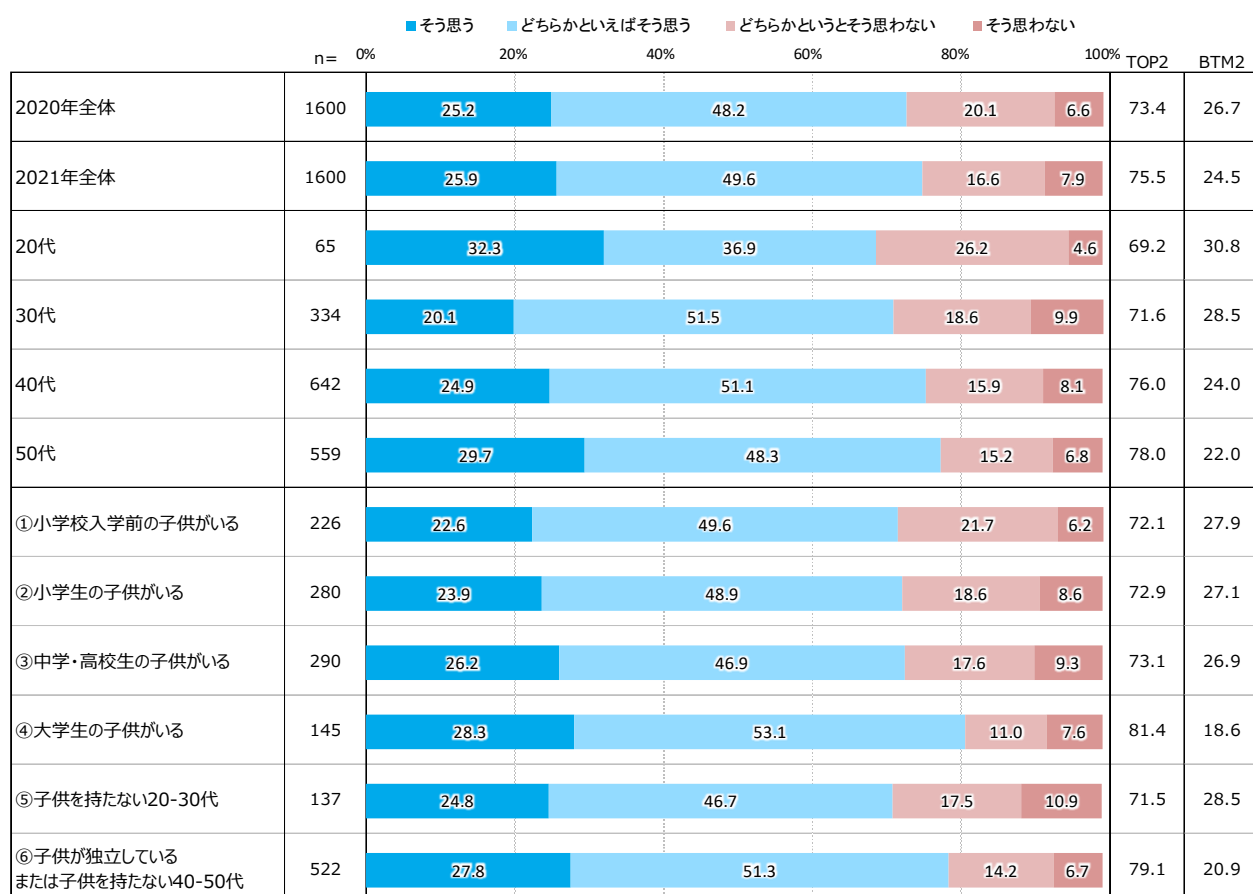
・全体でみると、TOP2（継続意向あり）が約8割を占めており、2020年と比較してほぼ変わらないレベル。



アルバイト先に対する意識：満足度

【現在のアルバイト先に満足しているか（単一回答）】

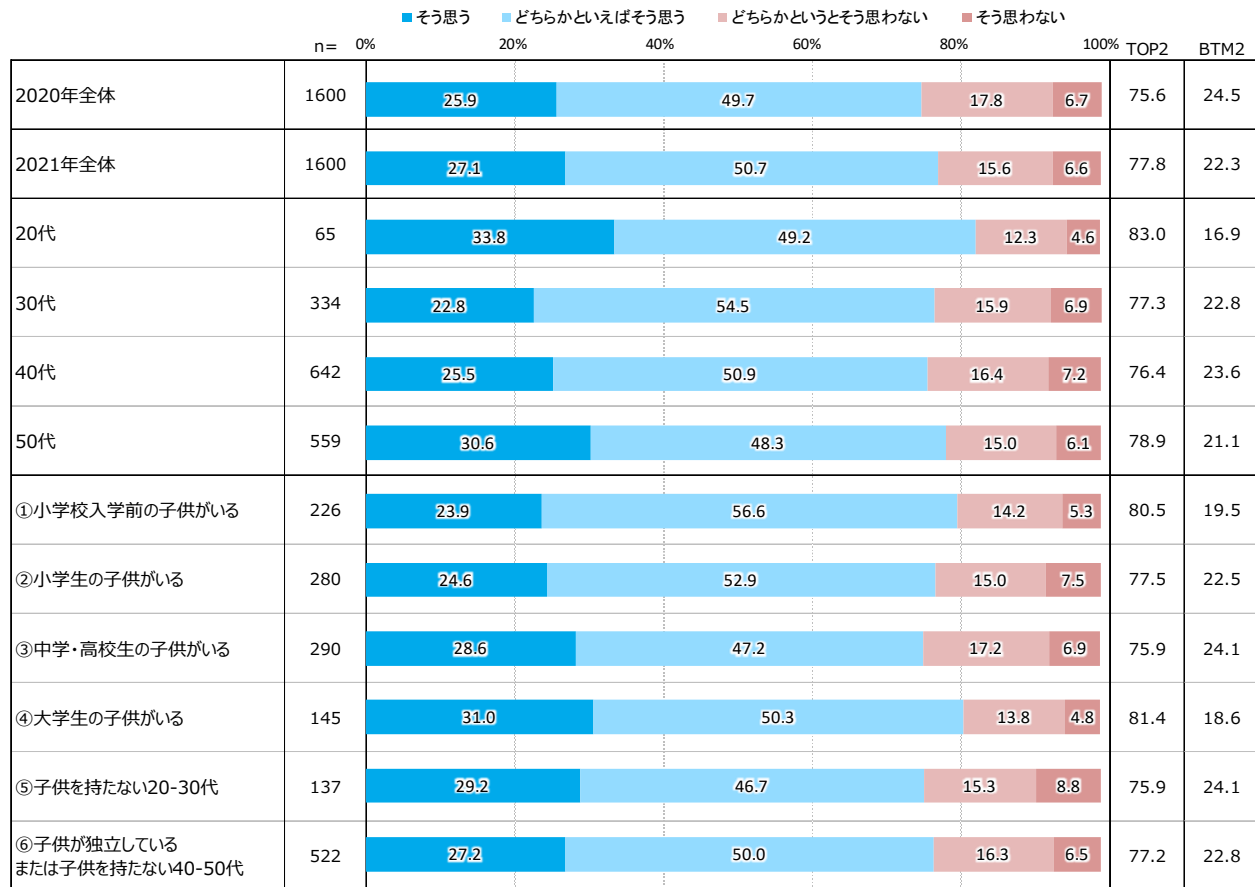
・全体でみると、TOP2（満足している）は75.5%、2020年と比較すると2pt程度高い。



アルバイト先に対する意識：前向きさ

【現在のアルバイトに前向きに取り組めているか（単一回答）】

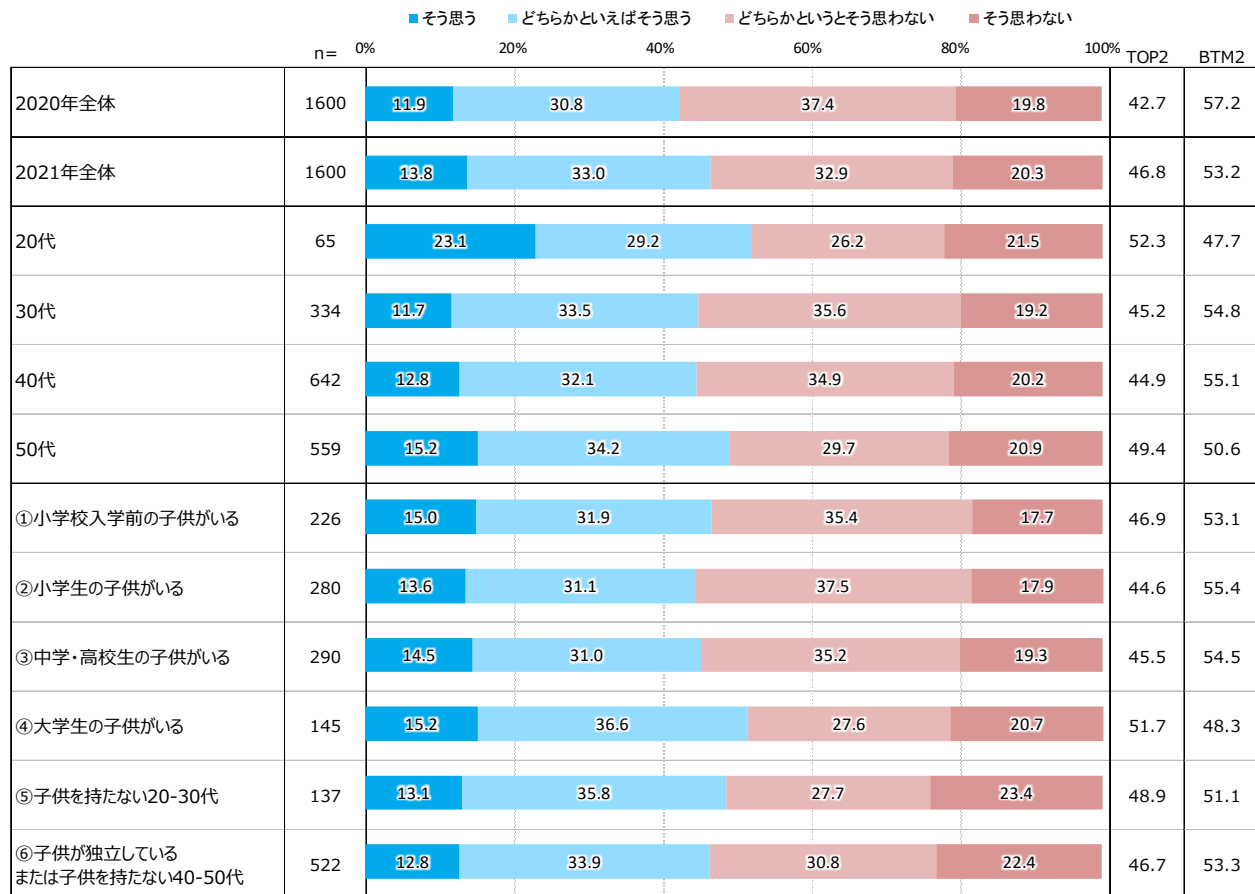
・全体でみると、TOP2（前向きに取り組める）は77.8%、2020年と比較すると2pt程度高い。



アルバイト先に対する意識：推奨度

【現在のアルバイト先を家族や友人に薦めたいと思えるか（単一回答）】

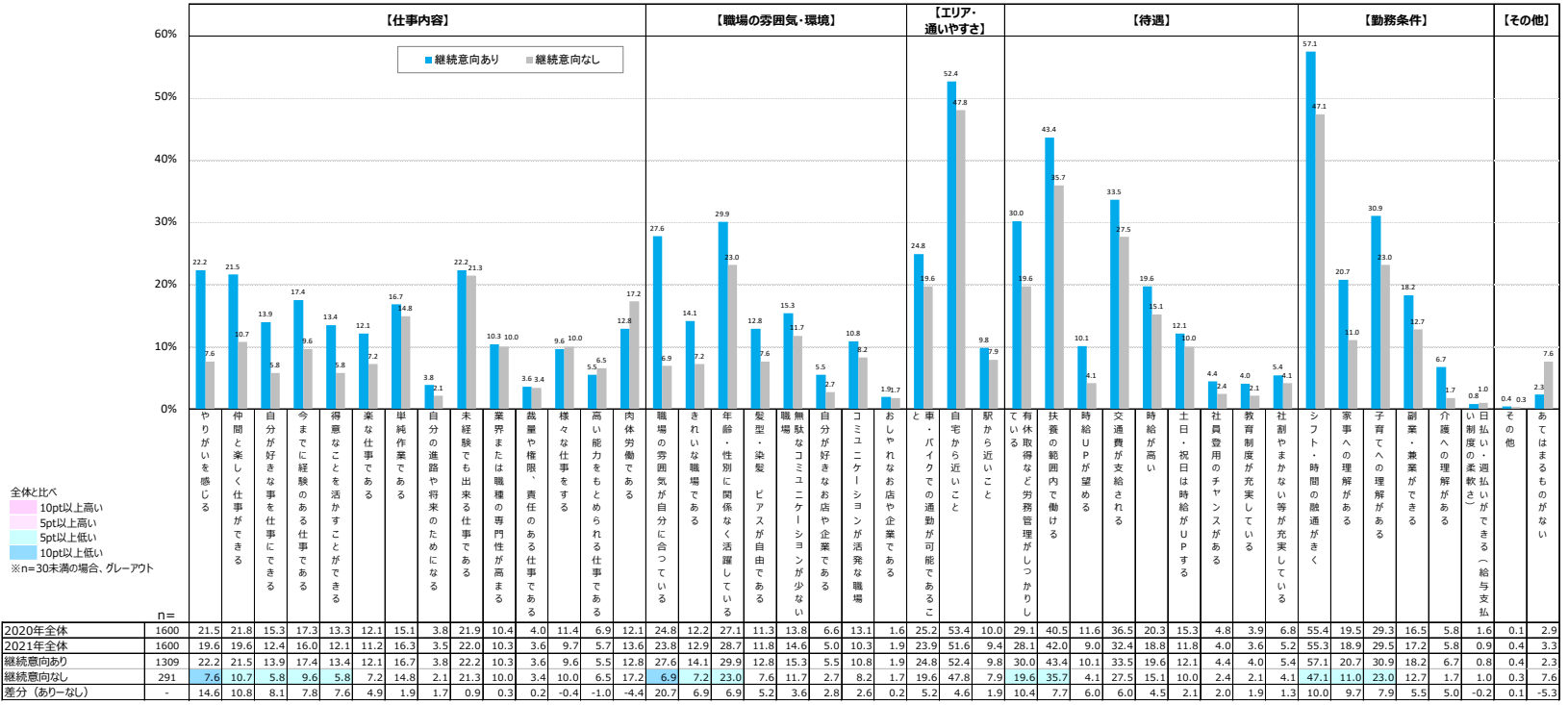
・全体でみると、TOP2（薦めたい）は46.8%、2020年と比較すると4pt程度高い。



継続意向と勤務先の実情

【現在のアルバイト先について当てはまるもの（複数回答）】

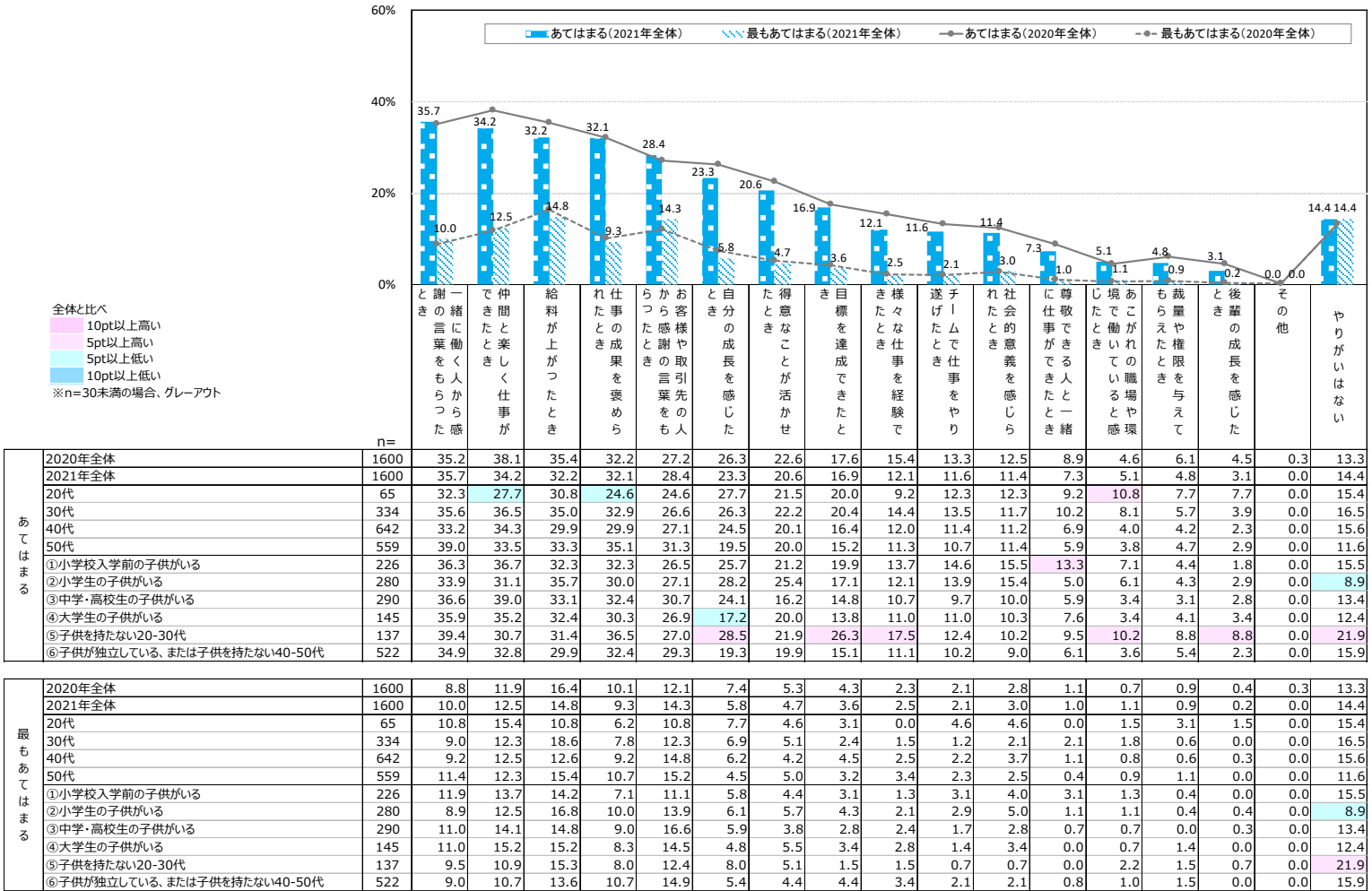
- ・現在のアルバイト先について当てはまるものを現職場への【継続意向あり】層と【継続意向なし】層で比較すると、 仕事内容については「やりがいを感じる」、職場の雰囲気・環境については「職場の雰囲気が自分に合っている」、待遇については「有休取得など労務管理がしっかりしている」、勤務条件については「シフト・時間の融通がきく」が差が大きい項目である。
- ・2020年と比較すると、全体的に数値は減少傾向で、「交通費が支給される」が4.1pt、「土日・祝日は時給が・Pする」が3.5pt下がっている。



やりがい

【やりがいを感じる時（複数回答）】

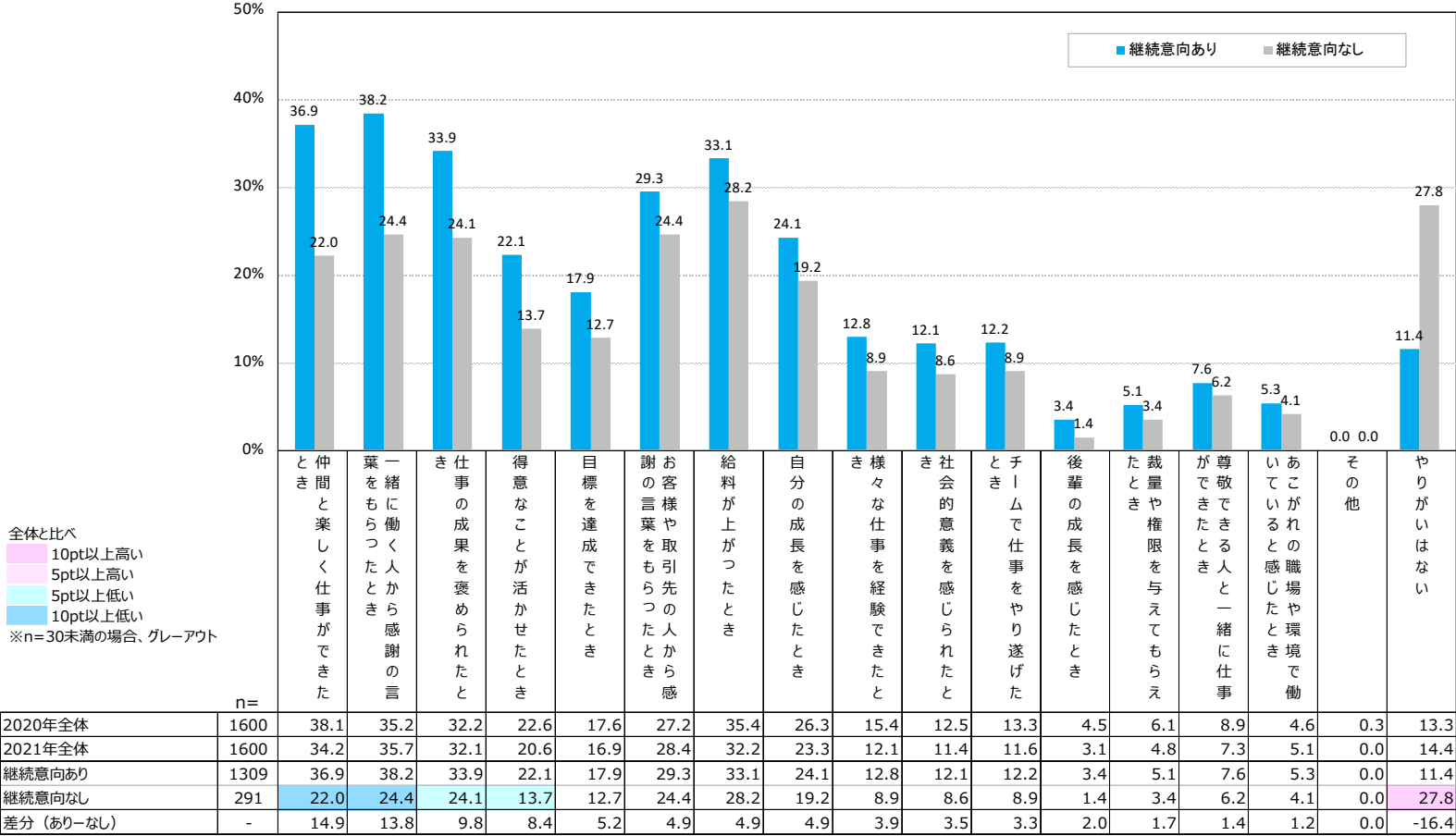
- ・全体でみると、やりがいを感じたときでは「一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき」「仲間と楽しく仕事できたとき」が3.9pt、「様々な仕事を経験できたとき」が3.3pt低い。
- ・最もやりがいを感じたときでは「給料が上がったとき」「お客様や取引先の人から感謝の言葉もらったとき」が上位である。



継続意向とやりがい

【現在のアルバイトでやりがいを感じる時（複数回答）】

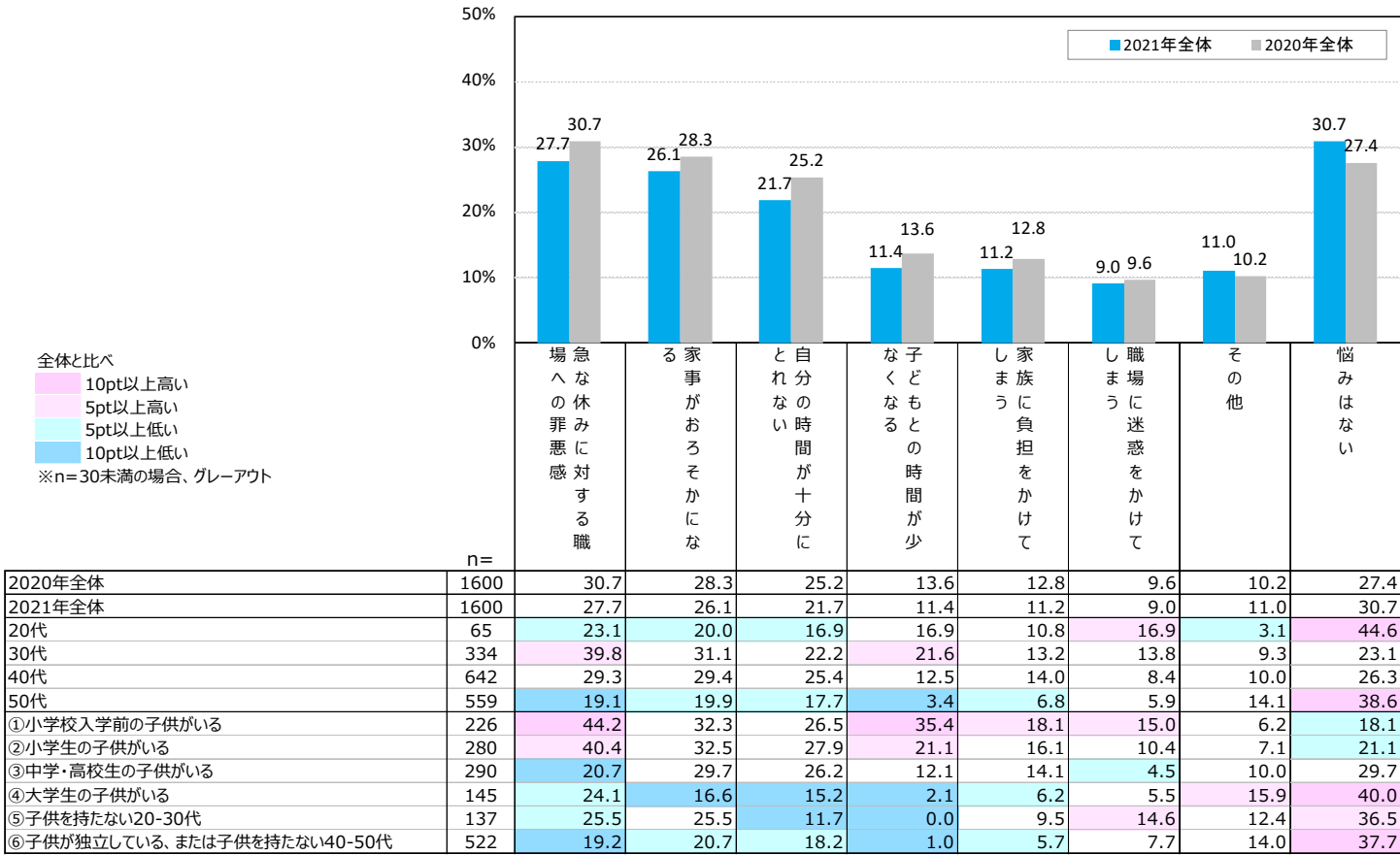
・やりがいを感じたときについて、現職場への【継続意向あり】層と【継続意向なし】層で比較すると、差が大きいのは「仲間と楽しく仕事ができるとき」「一緒に働く人から感謝の言葉をもらったとき」である。



勤務先での悩み

【仕事をするうえで悩んでいること（複数回答）】

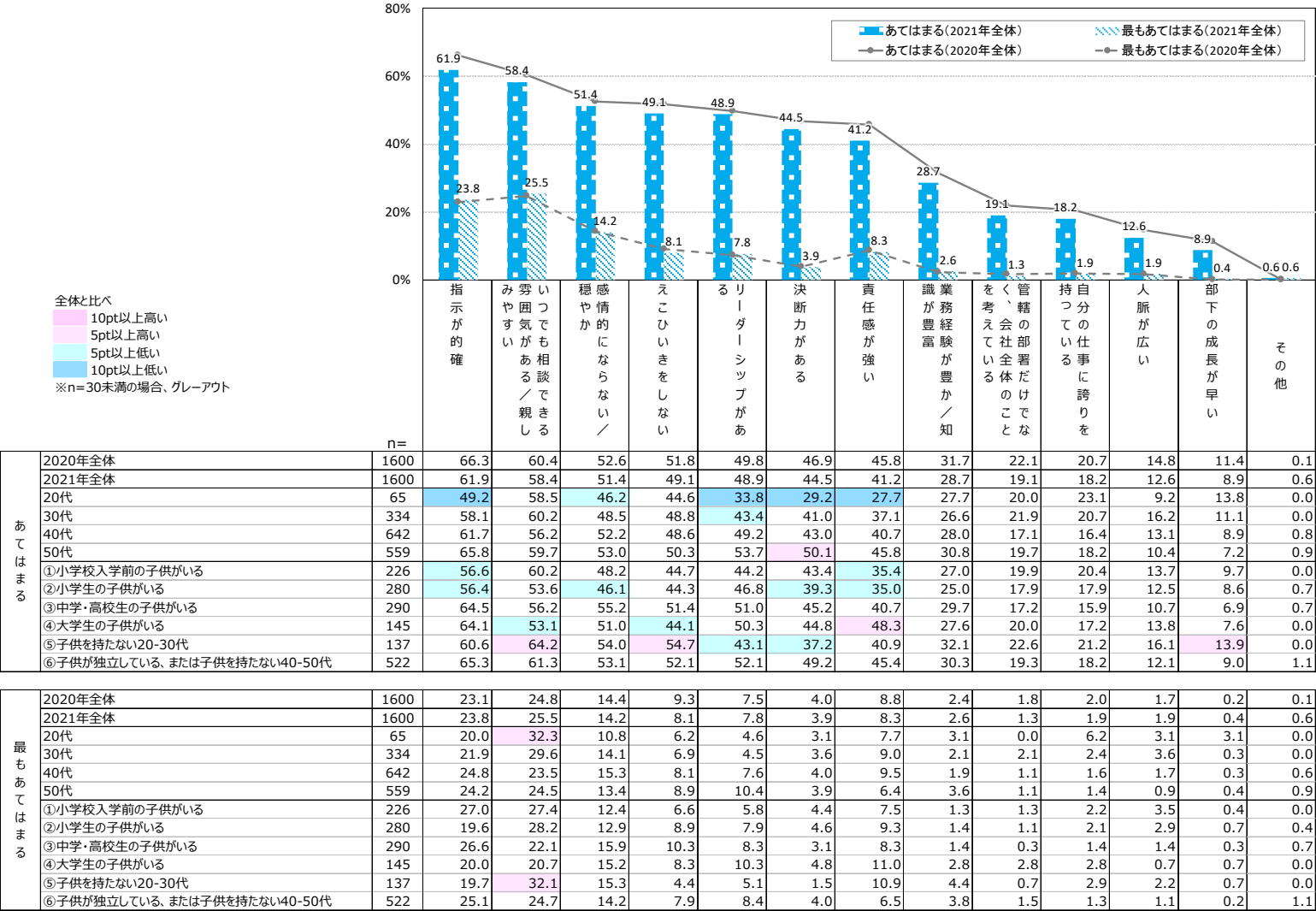
・全体でみると、「急な休みに対する職場への罪悪感」「家事がおろそかになる」「自分の時間が十分にとれない」が20%を超えている。2020年と比較すると全体的にやや低い傾向。



理想の上司像

【理想の上司像（複数回答）／最も理想の上司像（単一回答）】

- ・あてはまるものでは「指示が的確」「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」「感情的にならない／穏やか」が50%を超えている。
- ・2020年と比較すると「責任感が強い」が4.6pt、「指示が的確」が4.4pt低い。
- ・最もあてはまるでは「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」「指示が的確」が20%を超えている。

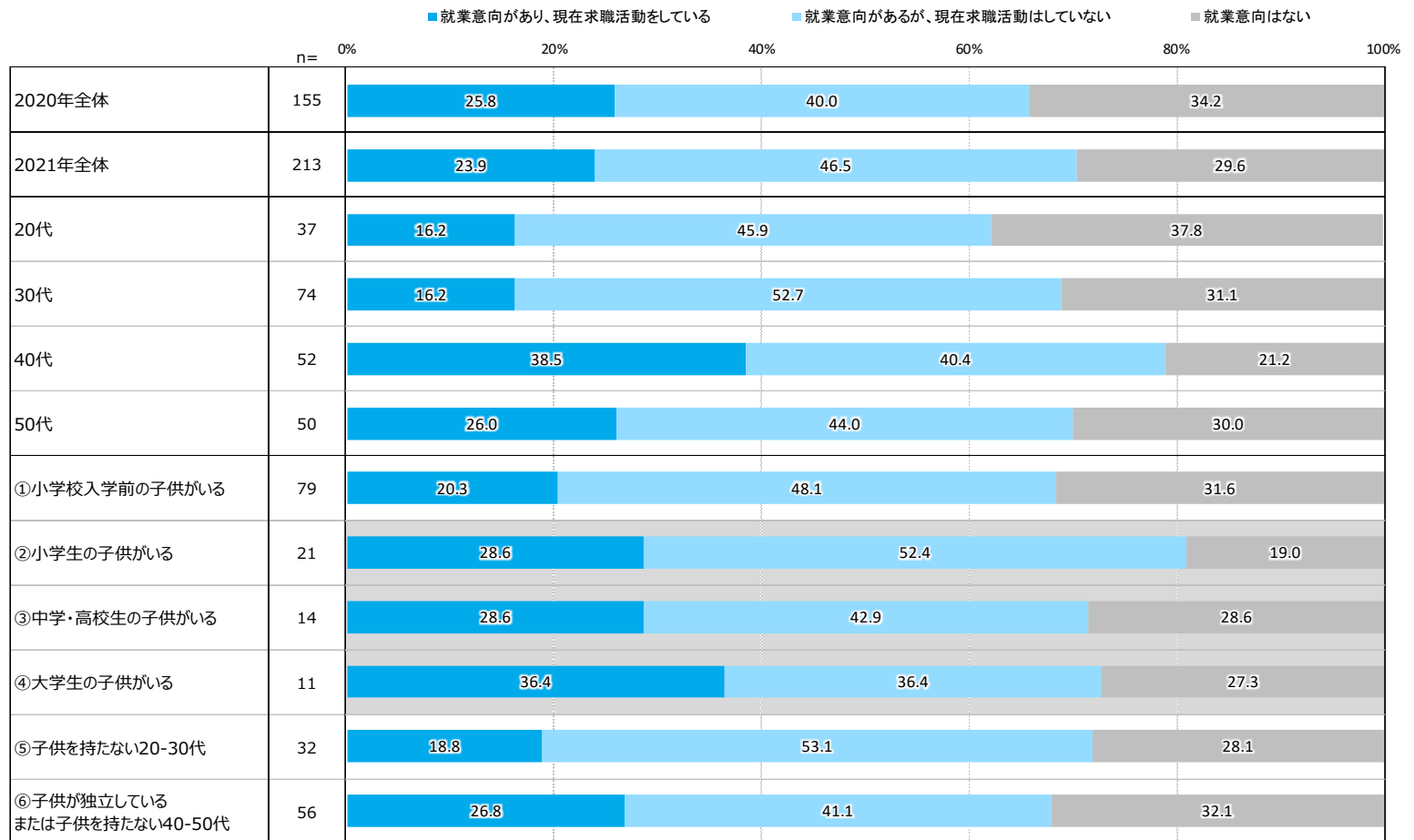


（4）就業意向と離職理由

就業意向

【就業意向の有無と求職活動について最もあてはまるもの（単一回答）】

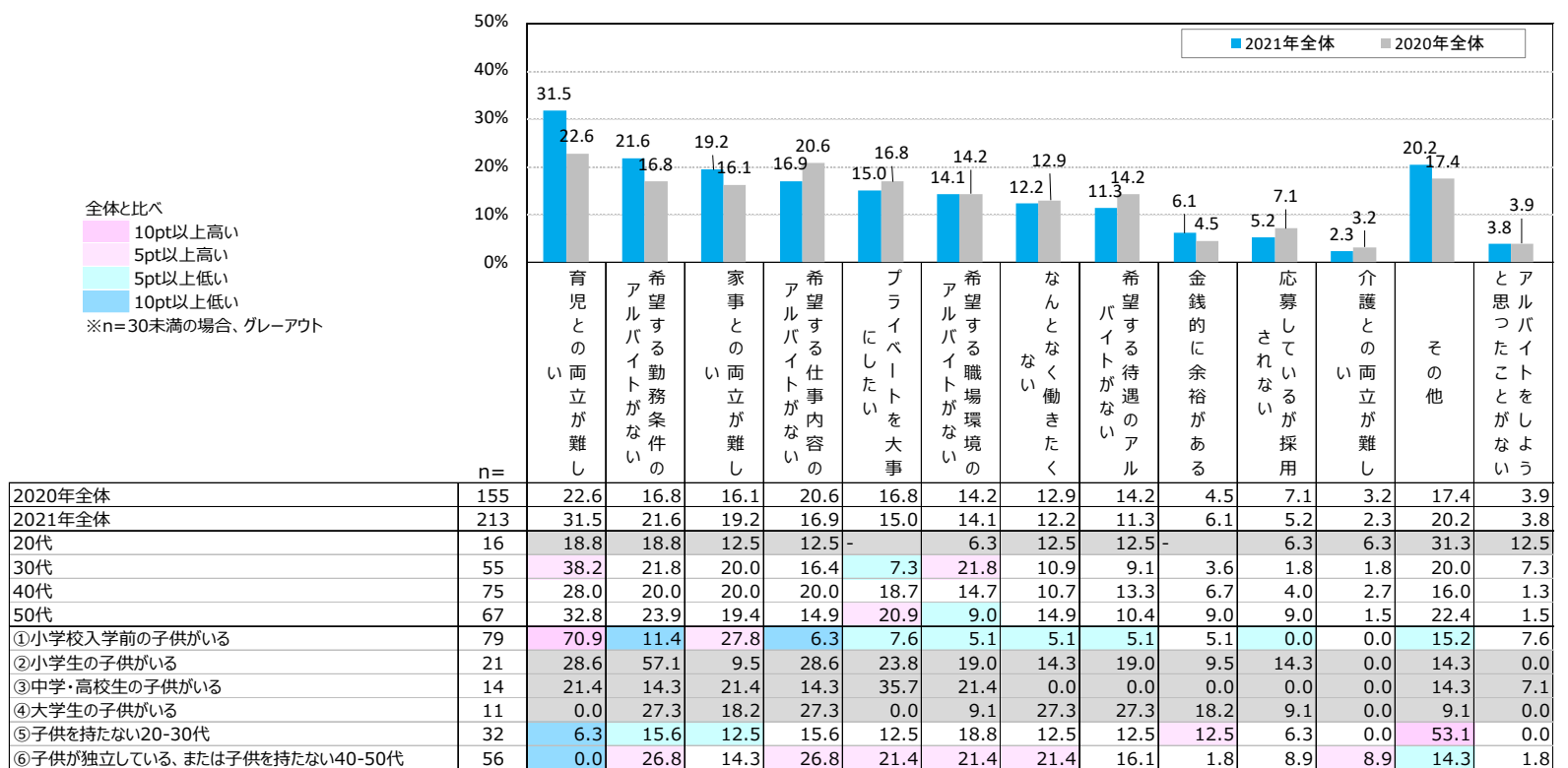
- ・非就業者のうち現在求職活動をしているのは全体の23.9%で、現在求職活動をしていない人を含めた就業意向層は7割程度。2020年と比較すると4.6pt高い。
- ・年代別では、現在求職活動しているのは【40代】が38.5%と最も高い。



非就業理由

【仕事をしていない理由（複数回答）】

- ・全体では「育児との両立が難しい」が31.5%で最も高い回答となり、次いで「希望する勤務条件のアルバイトがない」となっている。2020年と比較すると「育児との両立が難しい」は8.9pt高くなっており、変化が大きい項目になっている。
- ・【①小学校入学前の子供がいる】層は「育児との両立が難しい」「家事との両立が難しい」が全体より高く、両立の難しさが就業意欲を妨げているようだ。

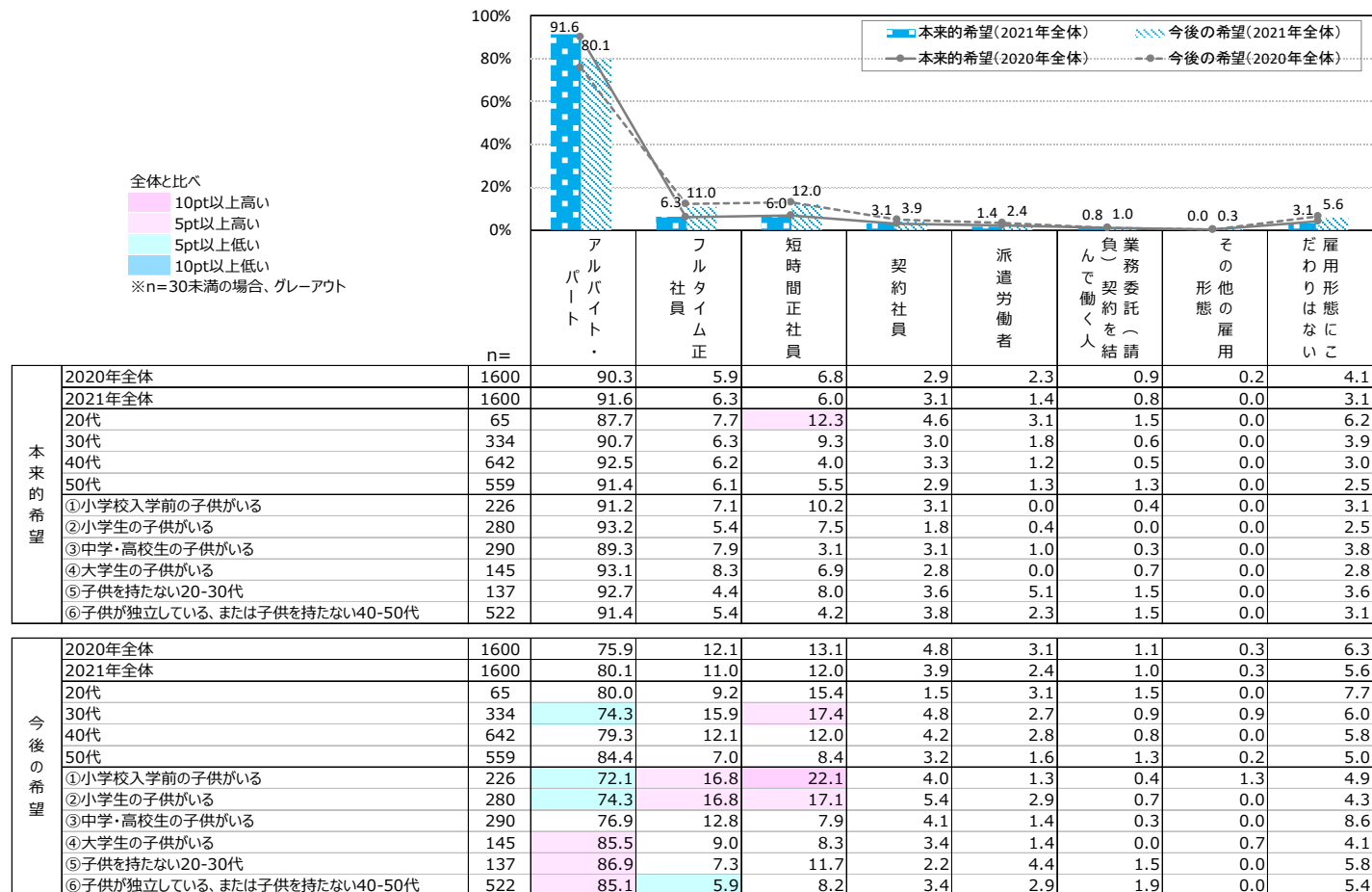


(5) 今後希望する雇用形態

希望する雇用形態

【働く上で現在本来希望していた雇用形態（複数回答）／今後希望する雇用形態（単一回答）】

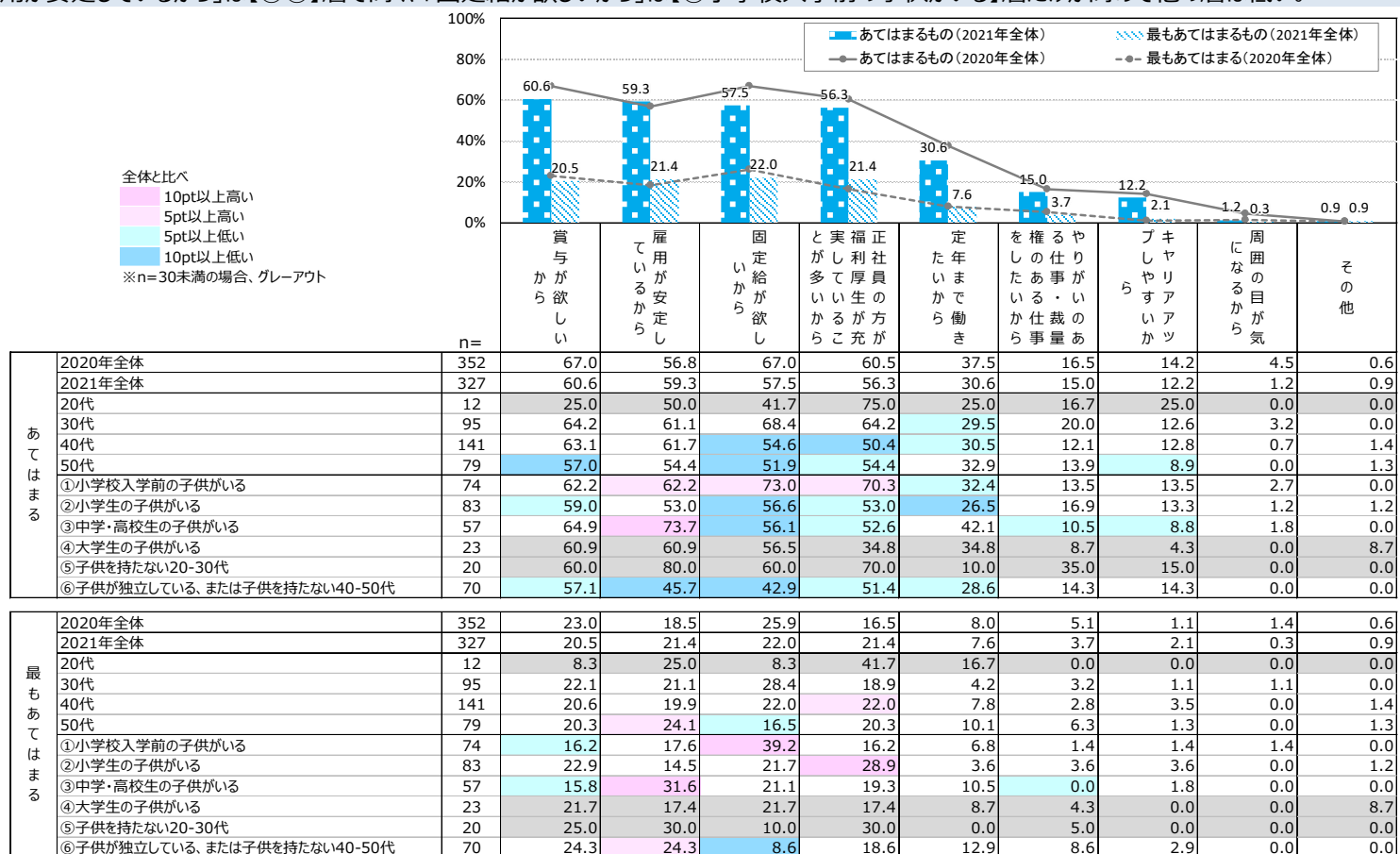
- ・本来希望していた雇用形態として全体では9割が「アルバイト・パート」を挙げており、2020年と比較してほぼ変わらない。
- ・今後の希望について、【30代】、【①小学校入学前の子供がいる】層と【②小学生の子供がいる】層では「短時間正社員」「フルタイム正社員」がやや高い。一方【④⑤⑥】層では「アルバイト・パート」がやや高く、子供の年齢が高い層では「パート・アルバイト」の意向が強くなる傾向。



正社員希望理由

【今後正社員で働きたい理由としてあてはまるもの（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

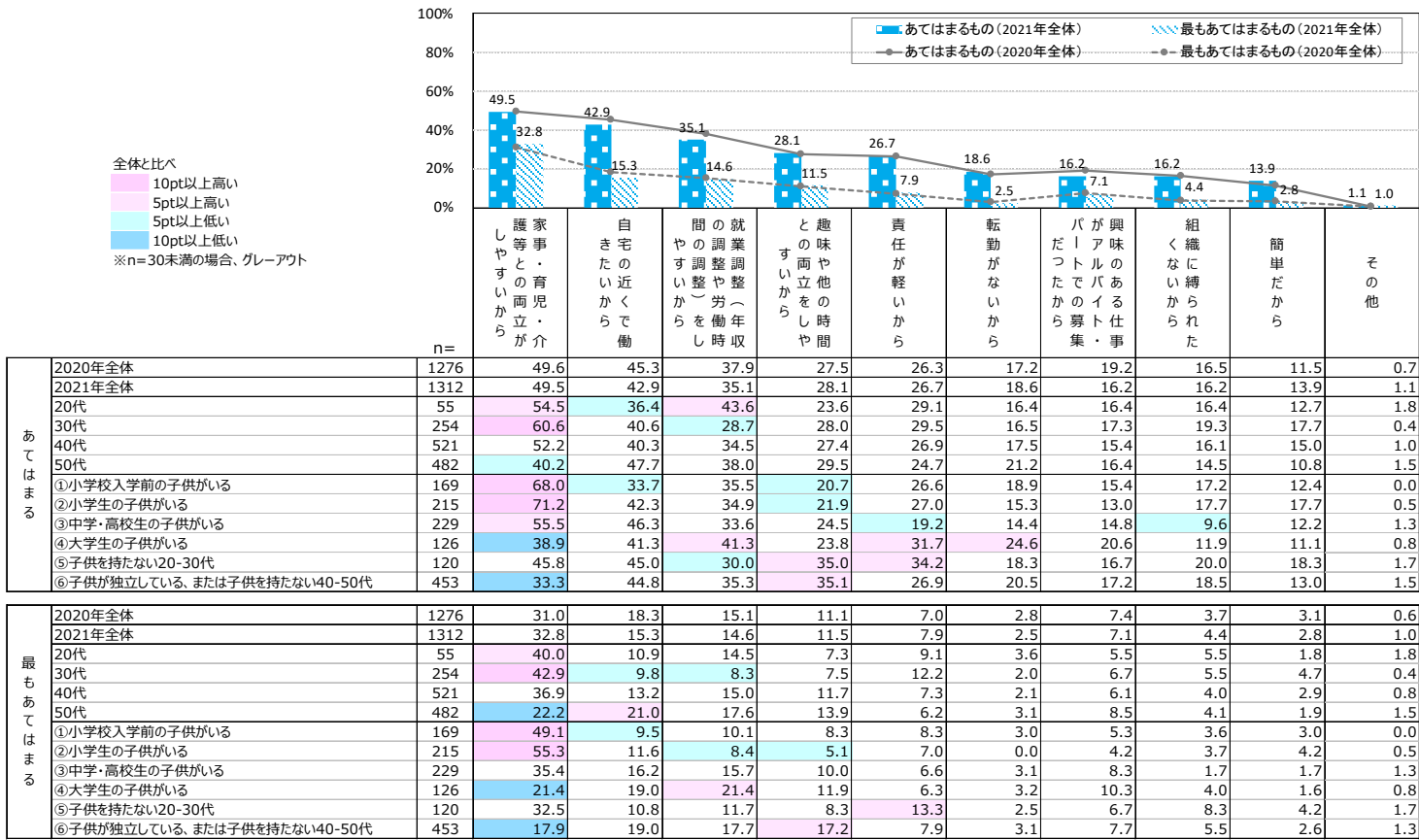
- ・あてはまるものでは「給与が欲しいから」「雇用が安定しているから」が上位となっているが、2020年と比較すると「雇用が安定しているから」はやや高くなっているのに対してその他の項目は全体的に低くなっており、「固定給が欲しいから」は-9.5ptと特に低い。
- ・「雇用が安定しているから」は【①③】層で高く、「固定給が欲しいから」は【①小学校入学前の子供がいる】層だけが高めで他の層は低い。



非正社員希望理由

【今後非正社員で働きたい理由としてあてはまるもの（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

- ・あてはまるものでは「家事・育児・介護等との両立がしやすいから」が約5割で最も高く、2020年と比較すると「興味のある仕事があるアルバイト・パートでの募集だったから」「就業調整をしやすいから」「自宅の近くで働きたいから」がやや低い。
- ・「家事・育児・介護等との両立がしやすいから」は【①小学校入学前の子供がいる】【②小学生の子供がいる】層では7割程度と、他の層に比べて高い。

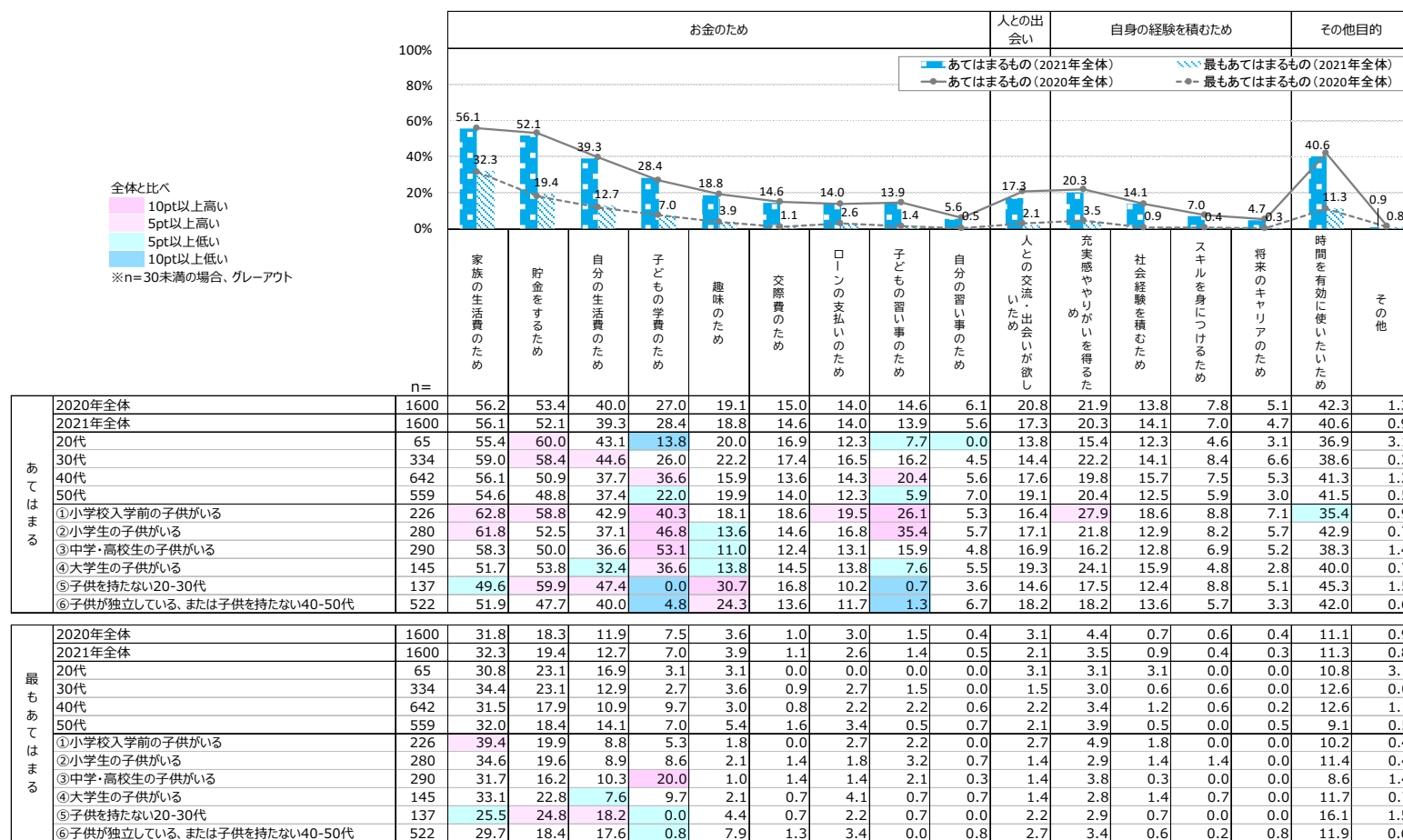


(6) アルバイト探しに関する意識

アルバイトする目的

【アルバイト・パートをする目的あてはまるもの（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

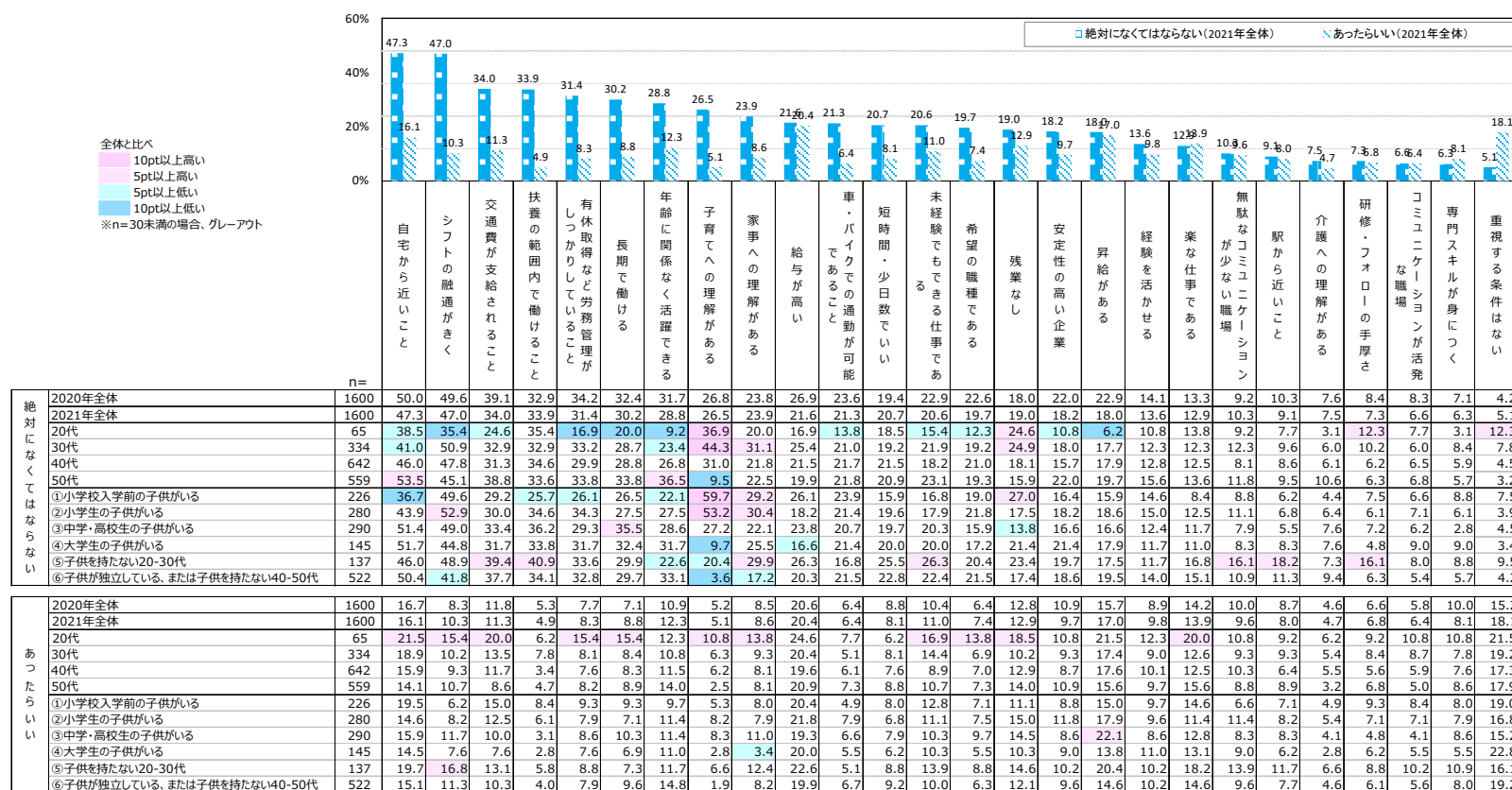
- ・あてはまるものでは「家族の生活費のため」と「貯金をするため」が5割以上で、2020年と比べると「人との交流・出会いが欲しいため」が3.5pt低い。
- ・最もあてはまるものでは「子供の学費のため」が【③中学・高校生の子供がいる】層で20.0%と高いのが目立つ。



アルバイト探しの重視条件

【アルバイトを探す際に、①絶対になくなくてはならないこと、②あったらいいが、必須ではないこと（複数回答）】

- ・絶対になくなくてはならないものでは「自宅から近いこと」「シフトの融通がきく」が40%を超えている。2020年と比較すると「給与が高い」が5.3pt、「交通費が支給されること」が5.1pt低い。
- ・あったらいいものでは「給与が高い」「昇給がある」「自宅から近いこと」が上位に挙がっている。

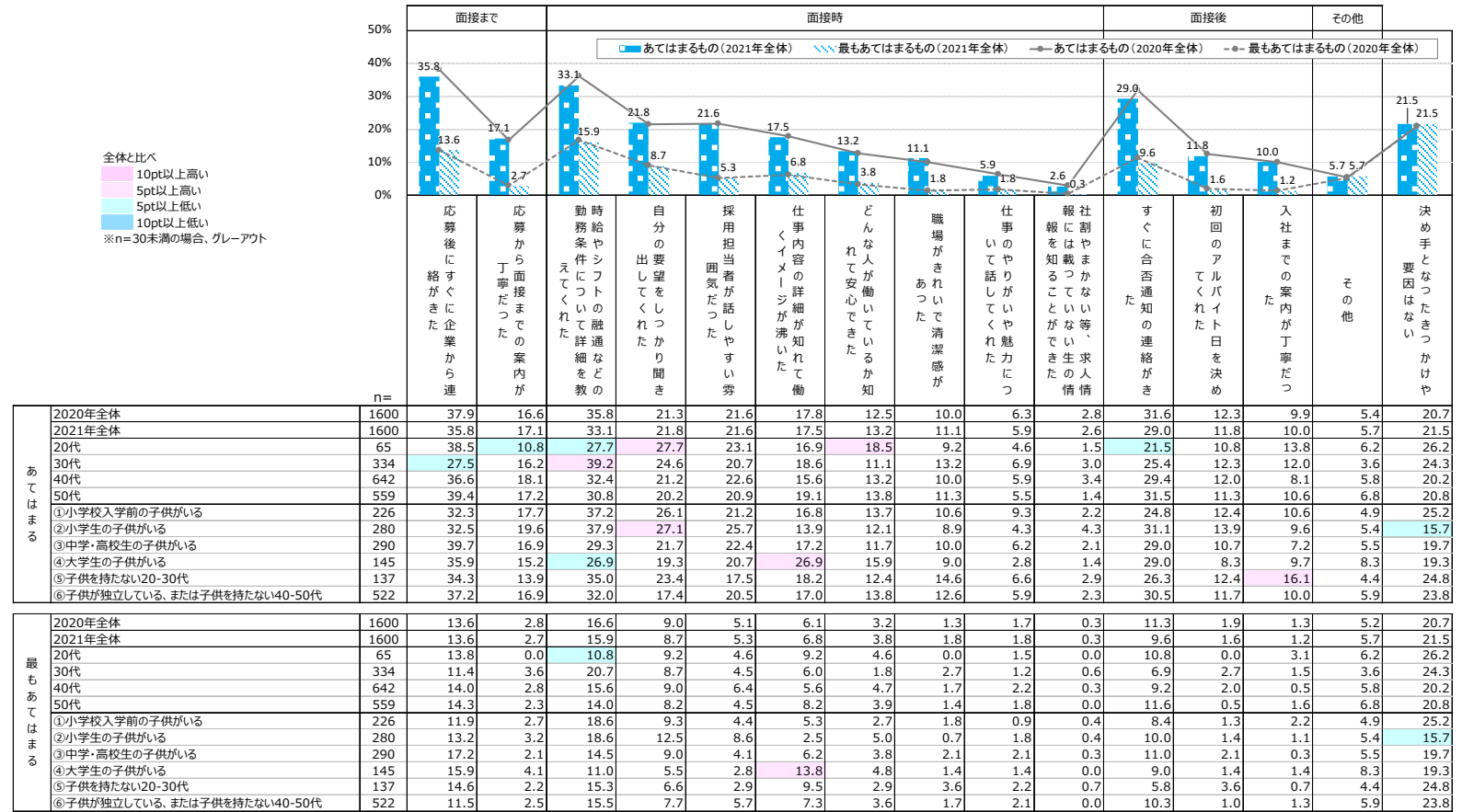


入社の決め手

【現在のアルバイトについて、応募してから入社を決めるまでの期間で、

入社の決め手となったきっかけや要因としてあてはまるもの（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

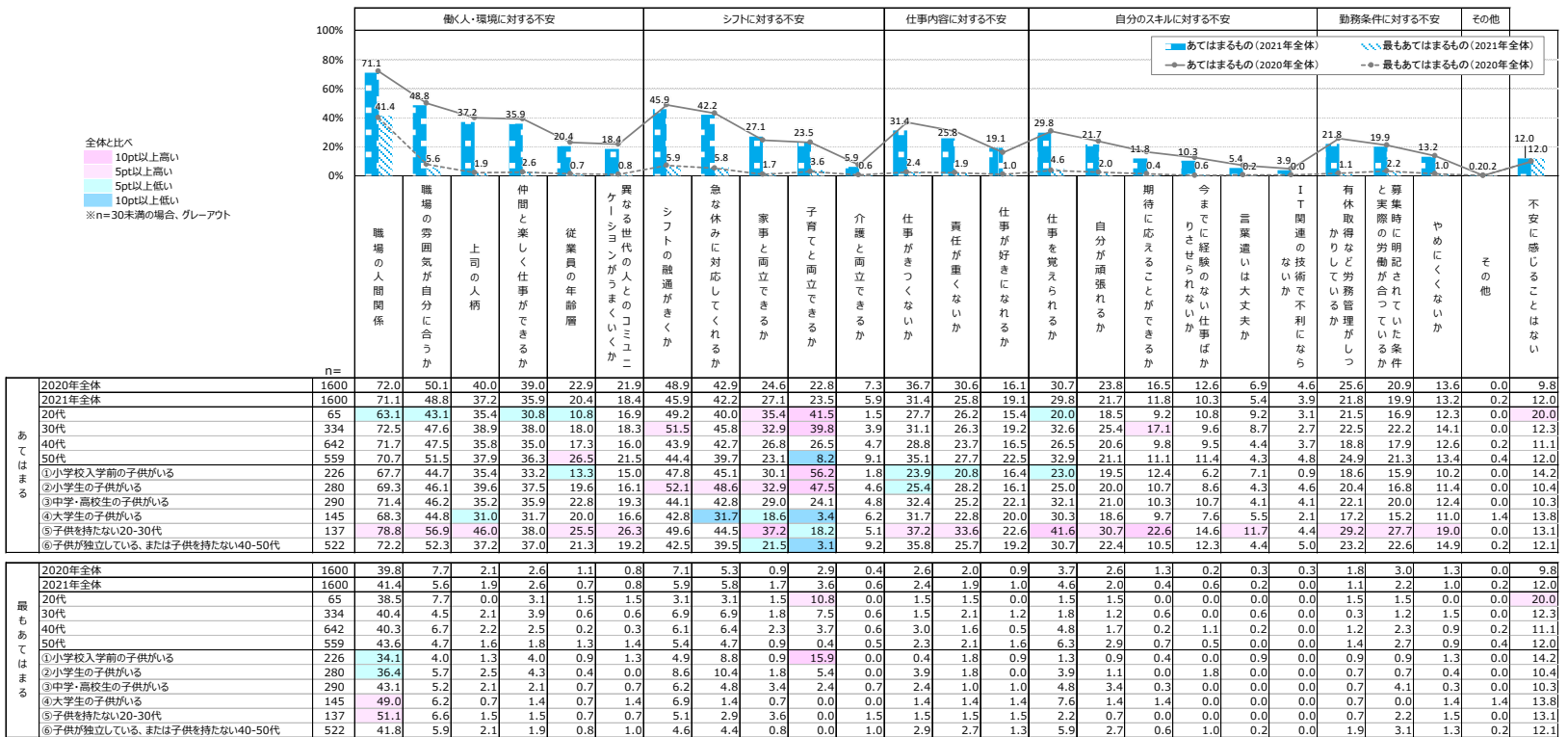
- ・あてはまるものでは「応募後にすぐに企業から連絡がきた」が最も高く、「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えてくれた」「すぐに合否通知の連絡がきた」が続く。
- ・最もあてはまるものでは「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えてくれた」が最も高い。



アルバイト開始の不安事項

【新しくアルバイトを始める際に、不安なこととしてあてはまるもの（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

- ・あてはまるものでは「職場の人間関係」が最も高く、「職場の雰囲気や自分に合うか」「シフトの融通がきくか」が続く。2020年と比較すると「仕事が好きになれるか」が3.0pt高く、「仕事がきつくないか」が5.3pt、「責任が重くないか」が4.8pt低い。
- ・最もあてはまるものでは「職場の人間関係」が最も高い。



アルバイト探しの時に欲しい情報（自由回答より抜粋）
【アルバイト探しの時に欲しい情報は何か。（自由回答）】

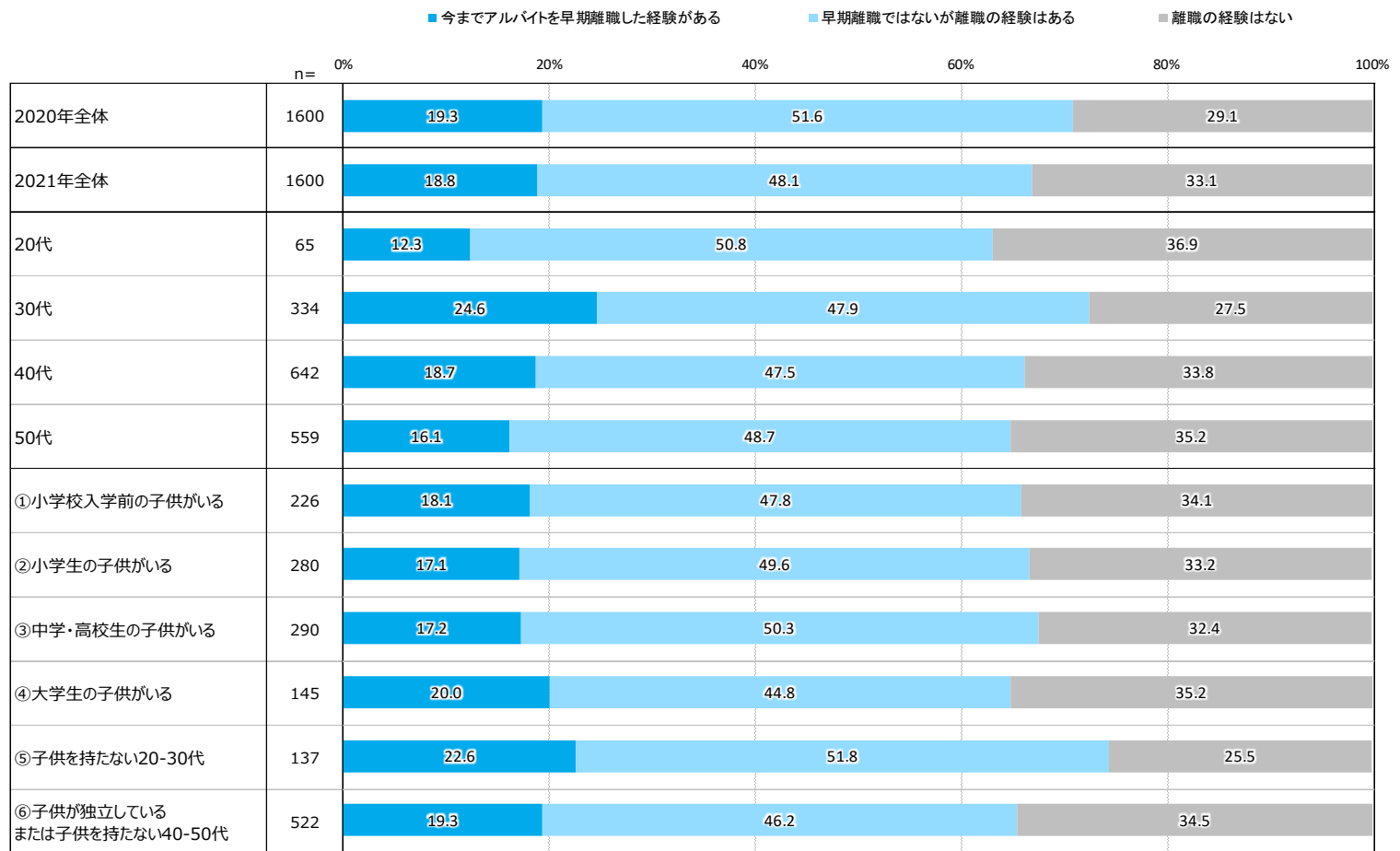
年齢	属性	コメント
40代	③中学・高校生の子供がいる	詳しい仕事内容とそこで働いている方の本音の勤務先評価
20代	⑤子供を持たない20-30代	希望の職、勤務地、細かい仕事内容や条件等の詳細。またその詳細に嘘がないか。
40代	⑥子供が独立している、または子供を持た	職場の仕事内容の写真を載せて欲しい
50代	⑥子供が独立している、または子供を持た	働いてる人の一言コメントがあったら嬉しい。作られた言葉はいらない。
30代	②小学生の子供がいる	実際の働いている人がどんな感じかわかればイメージしやすくてよいです。
50代	⑥子供が独立している、または子供を持た	もう若くないので、職場の方の年齢層や男女比、定年が知りたい。
40代	③中学・高校生の子供がいる	職場の雰囲気。在籍中の人の勤務年数。ここ1年以内の離職した人の離職理由。
30代	⑤子供を持たない20-30代	虚偽の情報は載せないで欲しい。具体的な給与や待遇を詳しく書いて欲しい。
50代	⑥子供が独立している、または子供を持た	本当に欲しい人材はどのような人かという正直なところ
50代	③中学・高校生の子供がいる	年齢制限があるかどうか。どの年代の人が多く働いているのかわかりたい。
40代	④大学生の子供がいる	シフトの融通がきくか。同年代が働いているか。扶養内で働けるか。就業時間の自由はきくか。
50代	③中学・高校生の子供がいる	自分が実際に働くとしたら時給いくらもらえるのか
30代	①小学校入学前の子供がいる	残業の目安や、残業代が出るか。
30代	②小学生の子供がいる	募集している曜日、時間がはっきり書いてある方が応募しやすいと思う。
30代	②小学生の子供がいる	休みやすいか、体への負担の配慮、有給のとりやすさ
20代	①小学校入学前の子供がいる	子どもの長期休みに時短勤務や欠勤が可能かどうか
50代	②小学生の子供がいる	シフトなど自分の希望が通るか
40代	④大学生の子供がいる	働いている人、体制や、休暇を取らなくてはならない時にはどのような対応になるのかわかりたい。
30代	①小学校入学前の子供がいる	実際に働いている人たちの写真や職場の雰囲気、産休育休の取得実績
50代	⑥子供が独立している、または子供を持た	シフト制と書いてあるが、具体的な内容が分かってありがたい。
30代	②小学生の子供がいる	希望通りのシフトに入ったり休みがとれるかどうか。どうやってシフトを決めているのか。
30代	②小学生の子供がいる	在宅でできる仕事の有無

（8）早期離職の実態と意識

離職経験

【アルバイトの離職経験についてあてはまるもの（単一回答）】

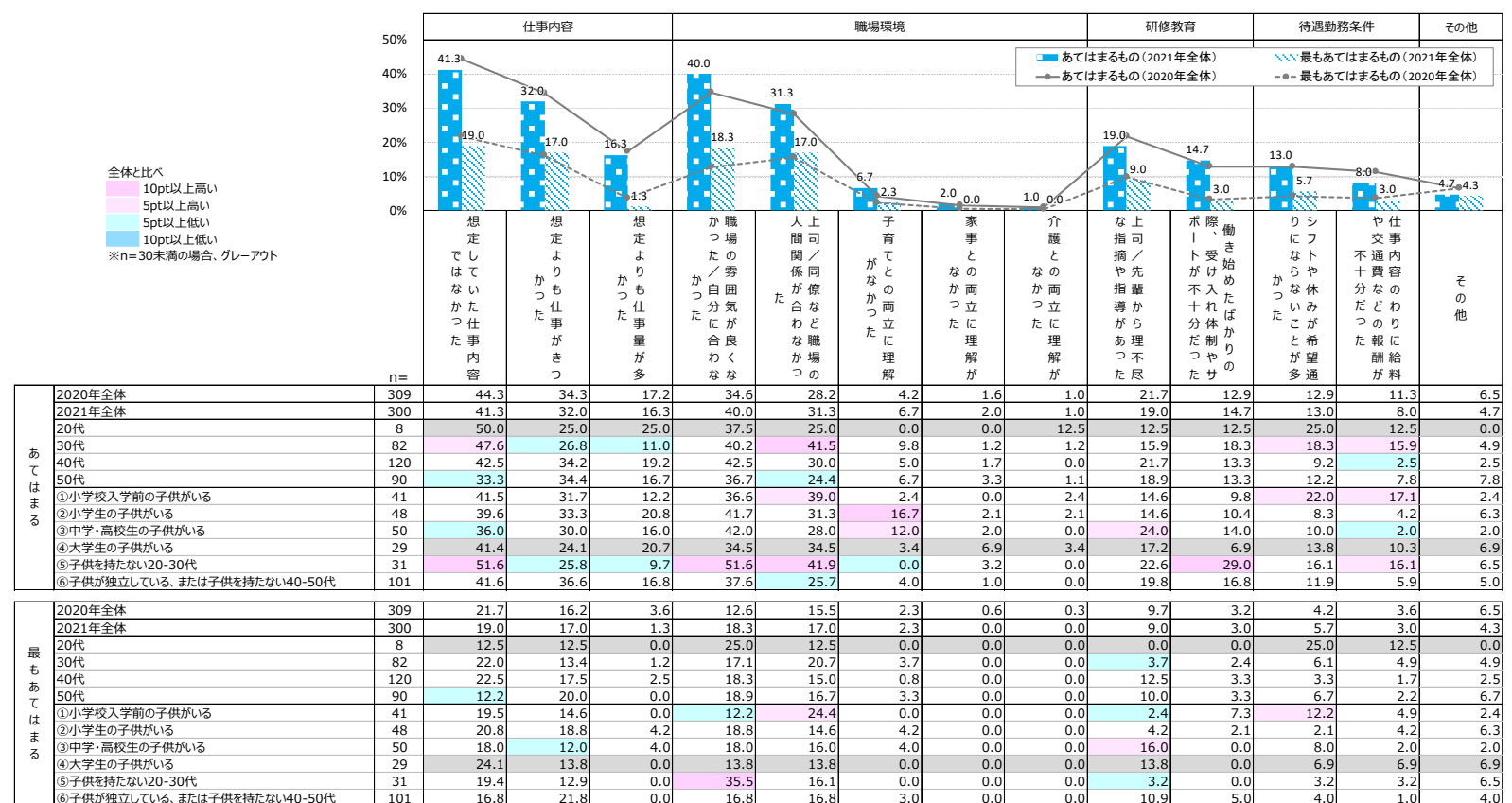
- ・全体で見ると早期離職の経験があるのは18.8%。離職経験者全体は66.9%で、2020年と比較すると4pt低い。
- ・早期離職を経験した層の比率が最も高いのは年代別では【30代】、属性別では【⑤子供を持たない20-30代】層で、離職経験者全体でも同様である。



早期離職理由

【早期離職の要因となったこととして、あてはまるもの（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

- ・あてはまるものでは「想定していた仕事内容ではなかった」と「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」が40%以上。
- ・2020年と比較すると「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」が5.4pt、「上司／同僚など職場の人間関係が合わなかった」が3.1pt高く、職場環境に関する要因が多く挙がっている。

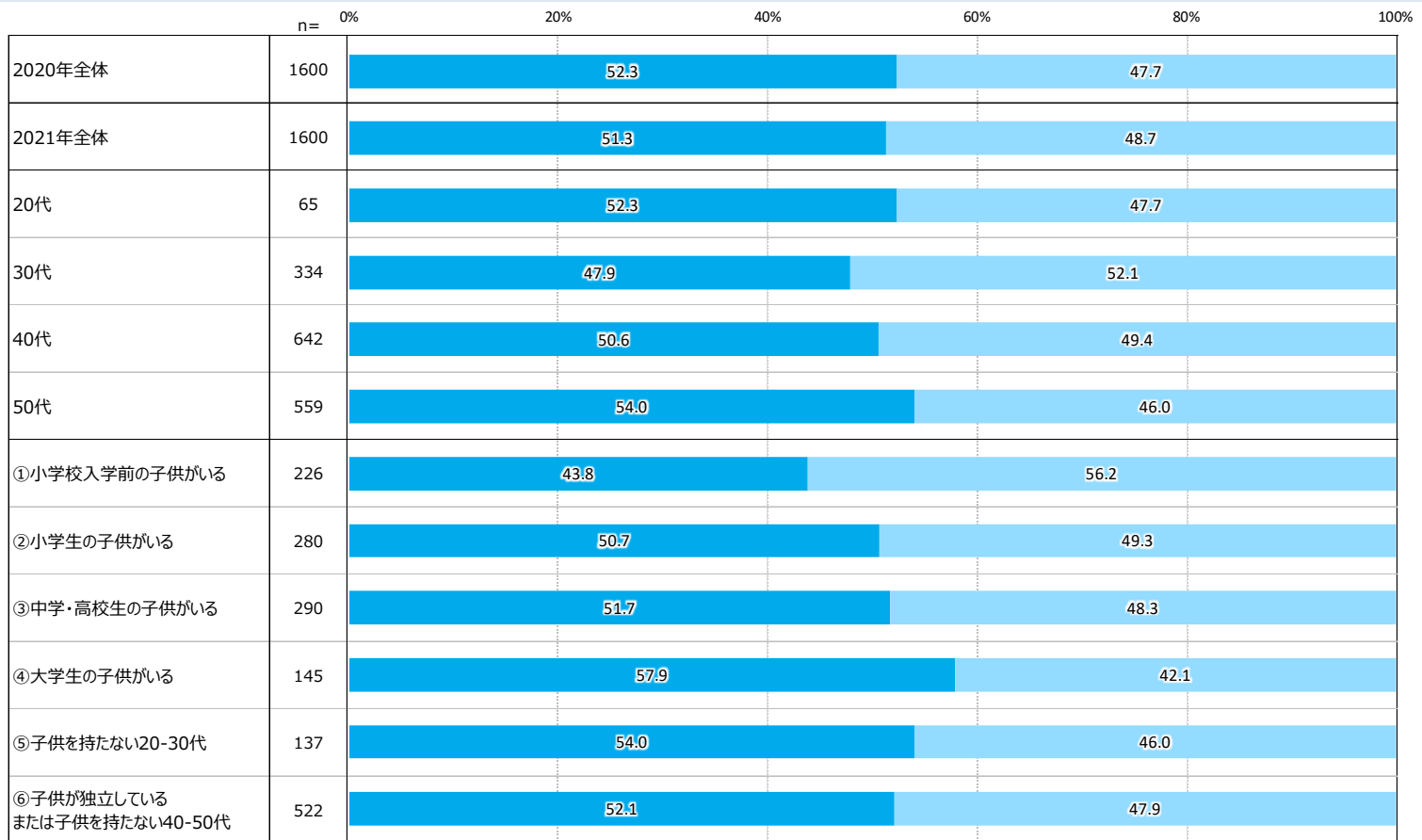


（8）就業調整の実態と意識

就業調整

【就業調整をしているか（単一回答）】

- ・就業調整をしているのは全体の5割強。2020年と比較してほぼ変わらない。
- ・就業調整しているのが最も高いのは属性別では【④大学生の子供がいる】層で57.9%、最も低いのは【①小学校入学前の子供がいる】層で43.8%である。



就業調整理由

【就業調整をしている理由についてあてはまるもの（複数回答）】

- ・全体で見ると「自分の所得税の非課税限度額を超えないようにするため」が37.3%で最も高い。2020年と比較すると「配偶者の会社から出る配偶者手当を受けるため」が4.2pt低い。
- ・属性別では【①小学校入学前の子供がいる】層は「配偶者の会社から出る配偶者手当を受けるため」「配偶者特別控除が減額し始める限度額を超えないようにするため」、【⑤子供を持たない20-30代】層は「自分の所得税の非課税限度額を超えないようにするため」がやや高い。

